

令和4年度

入学試験要項

国際教養学科

- 総合型選抜
- 学校推薦型選抜（Ⅰ期・Ⅱ期）
- 一般選抜（特待生）
- 一般選抜（Ⅰ期・Ⅱ期）
- 共通テスト利用選抜（Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期）
- 社会人選抜（Ⅰ期・Ⅱ期）
- 帰国生徒選抜（Ⅰ期・Ⅱ期）
- 長期履修学生選抜（Ⅰ期・Ⅱ期）



南九州短期大学

アドミッション・ポリシー

国際教養学科では、以下のような能力・資質・希望を持つ人を広く求めています。

1. 高等教育を受けるにふさわしい基礎学力と学習意欲を備えた人
 2. 国際的視野、幅広い教養、コミュニケーション能力を身につけたい人
 3. 専門的、職業的な知識・技能を身につけ、地域社会に貢献したい人
- 様々な可能性を持つ人を受け入れるため、多様な選抜方法による入学試験を実施します。

目 次

令和4年度入学定員・試験区分別募集人員・試験日程・試験地	P.1
総合型選抜入試要項	P.2~3
学校推薦型選抜Ⅰ期(指定校)入試要項	P.4
学校推薦型選抜Ⅰ期(公募)入試要項	P.5
学校推薦型選抜Ⅱ期(指定校)入試要項	P.6
学校推薦型選抜Ⅱ期(公募)入試要項	P.7
一般選抜(特待生)入試要項	P.8
一般選抜(Ⅰ期・Ⅱ期)入試要項	P.9
共通テスト利用選抜(Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期)入試要項	P.10
社会人選抜(Ⅰ期・Ⅱ期)入試要項	P.11
帰国生徒選抜(Ⅰ期・Ⅱ期)入試要項	P.12
長期履修学生選抜(Ⅰ期・Ⅱ期)入試要項	P.13
受験上及び修学上の配慮や支援が必要な入学志願者の事前相談について	P.14
新型コロナウイルス関連	P.14
特待生・入学金免除制度等について	P.15
留学支援奨学制度について	P.16
入学検定料の減額について	P.16
学校法人南九州学園災害等罹災者学納金減免制度について	P.16
納入金について	P.16
入学辞退について	P.16
試験場案内	P.17
入学願書記入上の注意事項について	P.18
入学願書記入について	P.18
個人情報の取り扱いについて	P.18
入学願書記入例	P.19~21
高等学校コード表	P.22~24
令和3年度入学試験問題	P.25~42
令和3年度入学試験問題解答例	P.43~45
卷末添付－願書・推薦書・履歴書・総合型選抜エントリーシート・資格スカラシップ制度申請書・封筒(出願用、受験票返信用)	

入学定員・試験区分別募集人員

入学定員・試験区分別募集人員	125人
学校推薦型選抜(Ⅰ期・Ⅱ期)	85人
一般選抜(特待生)	40人
一般選抜(Ⅰ期・Ⅱ期)	
共通テスト利用選抜(Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期)	各若干名
総合型選抜(Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期・Ⅳ期・Ⅴ期)	
社会人・帰国生徒・長期履修学生選抜(Ⅰ期・Ⅱ期)	各若干名

試験日程

試験区分		出願期間(必着)	試験日	合格発表日	入学手続締切日
総合型選抜	Ⅰ期	10/ 1(金)～10/ 8(金)	10/17(日)	11/ 1(月)	11/15(月)
学校推薦型選抜	Ⅰ期	11/ 1(月)～11/11(木)	11/21(日)	12/ 1(水)	12/10(金)
総合型選抜	Ⅱ期				
学校推薦型選抜	Ⅱ期	12/13(月)～12/24(金)	1/ 9(日)	1/19(水)	2/ 2(水)
総合型選抜	Ⅲ期				
一般選抜	特待生	1/17(月)～ 2/ 2(水)	2/ 6(日)	2/17(木)	2/25(金)
一般選抜	Ⅰ期				
総合型選抜	Ⅳ期	1/17(月)～ 2/ 4(金)	—	3/ 9(水)	3/18(金)
共通テスト利用選抜	Ⅰ期				
一般選抜	Ⅱ期	2/14(月)～ 2/25(金)	3/ 4(金)	3/22(火)	3/25(金)
共通テスト利用選抜	Ⅱ期	2/14(月)～ 3/ 2(水)	—		
総合型選抜	Ⅴ期	3/ 8(火)～ 3/14(月)	3/17(木)	3/22(火)	3/25(金)
共通テスト利用選抜	Ⅲ期	3/ 8(火)～ 3/15(火)	—		
社会人選抜	Ⅰ期	10/25(月)～11/11(木)	11/21(日)	12/ 1(水)	12/10(金)
帰国生徒選抜	Ⅱ期	2/14(月)～ 2/25(金)	3/ 4(金)	3/ 9(水)	3/18(金)
長期履修学生選抜					

試験地

試験区分	試験地
学校推薦型選抜	Ⅰ期
	Ⅱ期
一般選抜	特待生
	Ⅰ期
	Ⅱ期
	I期～V期
総合型選抜	本学
共通テスト利用選抜	I期～Ⅲ期 個別学力検査は行いません
社会人選抜・帰国生徒選抜・長期履修学生選抜	I期～Ⅱ期 本学

【入試に関する問い合わせ・出願受付】

南九州短期大学 学生支援課 〒880-0032 宮崎県宮崎市霧島5丁目1番地2 0985-83-3406
土日祝及び本学所定の休日(12月28日～1月4日)を除く8:30～17:00

総合型選抜

【総合型選抜の趣旨】

総合型選抜入試は、個人の能力や適性、学習意欲などを総合的に判断し、合否を決定する入試制度です。

本学及び志望する学科のアドミッション・ポリシーと照らし合わせて、一人ひとりの能力や意欲を多面的、総合的に判断します。南九州短期大学で学びたいという明確な意思と目的意識を持った人を求めます。

なお、アドミッション・ポリシーについては、入試要項または本学ホームページで確認してください。

【エントリー～出願までの流れ】

Step.1 エントリー	エントリーシートを郵送またはFAXしてください。事前面談は、オープンキャンパス・進学説明会・大学見学のいずれかの際に行います。エントリーシートは面談希望日の7日前までに提出してください。
Step.2 事前面談日決定	エントリーシート到着後、日程調整を行いご連絡します。
Step.3 事前面談	エントリーシートをもとに面談します。時間は30分程度です。本学で学びたいという気持ちや質問したいこと等をじっくりお話しください。
Step.4 出願	事前面談を受けた者のみ受験が可能です。 入学試験要項に沿って必要書類を整え、出願してください。

1. 特典

- (1) 総合型選抜Ⅰ期では、特待生を選考します。採用者は、入学金全額(200,000円)を免除します。
※特待生採用者数:若干名

2. 出願資格

学業・スポーツ・社会活動などの分野で高い評価や資質を得た者、または本学を選択した理由や、将来の夢や目標が明確である者で、事前面談を受け、(1)と(2)～(4)のいずれかの条件を満たす者

- (1) 本学への入学が第一志望である者
(2) 高等学校の卒業者、または2022年3月卒業見込みの者
(3) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2022年3月修了見込みの者
(4) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められる者

3. 選考方法

小論文・面接および書類審査をあわせて総合的に判断します。
多目的・総合的評価方法について、詳細はホームページに掲載します。

4. 出願書類

- (1) 入学願書 本学所定の用紙
- (2) 調査書 出身校にて作成し厳封されたもの
- (3) 入学検定料 26,000円 郵便局で普通為替証書(受取人欄等には一切記入しないこと)に換えて出願書類に同封すること
- (4) 受験票送付用封筒 本学所定のもの(住所・氏名明記、速達料相当切手(374円)貼付)
- (5) 写真 最近3か月以内に撮影した上半身正面無帽の写真(縦4cm×横3cm)2枚を入学願書および受験票に貼付すること

5. 出願期間（期間内必着のこと）

- I期 2021年10月 1日(金)～2021年10月 8日(金)
- II期 2021年11月 1日(月)～2021年11月11日(木)
- III期 2021年12月13日(月)～2021年12月24日(金)
- IV期 2022年 1月17日(月)～2022年 2月 2日(水)
- V期 2022年 3月 8日(火)～2022年 3月14日(月)

6. 試験日

- I期 2021年10月17日(日)
- II期 2021年11月21日(日)
- III期 2022年 1月 9日(日)
- IV期 2022年 2月 6日(日)
- V期 2022年 3月17日(木)

7. 試験地 本学

8. 試験科目・試験時間

- 集合時間 午前 9時
- ◆小論文 午前 9時30分～10時30分(60分・600字)
 - ◆面接 午前10時45分～

9. 合格発表

- I期 2021年11月 1日(月)
- II期 2021年12月 1日(水)
- III期 2022年 1月19日(水)
- IV期 2022年 2月17日(木)
- V期 2022年 3月22日(火)

- (1) 合否結果は、本人宛に郵送します。
- (2) 電話による合否の問い合わせには一切応じません。

10. 入学手続き（入学手続締切日）

- I期 2021年11月15日(月)
- II期 2021年12月10日(金)
- III期 2022年 2月 2日(水)
- IV期 2022年 2月25日(金)
- V期 2022年 3月25日(金)

詳細については、合格者に通知します。納入金については、P16を参照してください。

【総合型選抜に関するお問い合わせ及びエントリーシート提出先】

南九州短期大学 学生支援課(宮崎キャンパス)

〒880-0032 宮崎県宮崎市霧島5丁目1番地2 TEL 0985-83-3406 FAX 0985-83-3383
土日祝及び本学所定の休日(12月28日～1月4日)を除く8:30～17:00

学校推薦型選抜Ⅰ期（指定校）

1. 特典

- (1) 特待生採用者は、入学金全額(200,000円)を免除します。
- (2) 特待生に採用されなかった場合でも、選考の上、成績が基準を満たしていれば合格とし、入学金半額(100,000円)を免除します。

※特待生採用者数 20人(指定校・公募合わせて)

2. 出願資格

出身高等学校長が特に推薦する者で、次の条件を満たす者

- (1) 本学への入学が第一志望である者(専願)
- (2) 2021年3月卒業者、または2022年3月卒業見込みの者
- (3) 学業成績が優れた者(原則として全体の評定平均値が3.5以上の者)、または学業以外(部活動・生徒会活動・各種検定等)において優れた成果を収めた者

3. 選考方法 小論文・面接および書類審査をあわせて総合的に判断します。

多目的・総合的評価方法について、詳細はホームページに掲載します。

4. 出願書類

- | | |
|--------------|---|
| (1) 入学願書 | 本学所定の用紙 |
| (2) 推薦書 | 本学所定の用紙 |
| (3) 調査書 | 出身校にて作成し厳封されたもの |
| (4) 入学検定料 | 26,000円 郵便局で普通為替証書(受取人欄等には一切記入しないこと)に換えて出願書類に同封すること |
| (5) 受験票送付用封筒 | 本学所定のもの(住所・氏名明記、速達料相当切手(374円)貼付) |
| (6) 写真 | 最近3か月以内に撮影した上半身正面無帽の写真(縦4cm×横3cm)2枚を入学願書および受験票に貼付すること |

5. 出願期間(期間内必着のこと)

2021年11月 1日(月)～2021年11月11日(木)

6. 試験日 2021年11月21日(日)

7. 試験地 本学・都城・日向

8. 試験科目・試験時間

集合時間 午前 9時
◆小論文 午前 9時30分～10時30分(60分・600字)
◆面接 午前10時45分～

9. 合格発表

合格発表日 2021年12月 1日(水)

- (1) 合否結果は、本人宛に郵送します。
- (2) 電話による合否の問い合わせには一切応じません。

10. 入学手続き

入学手続締切日 2021年12月10日(金)

詳細については、合格者に通知します。納入金については、P16を参照してください。

学校推薦型選抜Ⅰ期（公募）

1. 特典

(1) 特待生採用者は、入学金全額(200,000円)を免除します。

※特待生採用者数 20人(指定校・公募合わせて)

2. 出願資格

出身高等学校長が特に推薦する者で、次の条件を満たす者

(1) 2021年3月卒業者、または2022年3月卒業見込みの者

(2) 学業成績が優れた者(原則として全体の評定平均値が3.5以上の者)、または学業以外(部活動・生徒会活動・各種検定等)において優れた成果を収めた者

3. 選考方法 小論文・面接および書類審査をあわせて総合的に判断します。

多目的・総合的評価方法について、詳細はホームページに掲載します。

4. 出願書類

(1) 入学願書 本学所定の用紙

(2) 推薦書 本学所定の用紙

(3) 調査書 出身校にて作成し厳封されたもの

(4) 入学検定料 26,000円 郵便局で普通為替証書(受取人欄等には一切記入しないこと)に換えて出願書類に同封すること

(5) 受験票送付用封筒 本学所定のもの(住所・氏名明記、速達料相当切手(374円)貼付)

(6) 写真 最近3か月以内に撮影した上半身正面無帽の写真(縦4cm×横3cm)2枚を入学願書および受験票に貼付すること

5. 出願期間(期間内必着のこと)

2021年11月 1日(月)～2021年11月11日(木)

6. 試験日 2021年11月21日(日)

7. 試験地 本学・都城・日向

8. 試験科目・試験時間

集合時間 午前 9時

◆小論文 午前 9時30分～10時30分(60分・600字)

◆面接 午前10時45分～

9. 合格発表

合格発表日 2021年12月 1日(水)

(1) 合否結果は、本人宛に郵送します。

(2) 電話による合否の問い合わせには一切応じません。

10. 入学手続き

入学手続締切日 2021年12月10日(金)

詳細については、合格者に通知します。納入金については、P16を参照してください。

学校推薦型選抜Ⅱ期（指定校）

1. 出願資格

出身高等学校長が特に推薦する者で、次の条件を満たす者

- (1) 本学への入学が第一志望である者（専願）
- (2) 2021年3月卒業者、または2022年3月卒業見込みの者
- (3) 全体の評定平均値が3.2以上の者、または人物、資質等において特に評定平均値に代えて評価すべき者

2. 選考方法 小論文・面接および書類審査をあわせて総合的に判断します。 多目的・総合的評価方法について、詳細はホームページに掲載します。

3. 出願書類

- | | |
|---------------|---|
| (1) 入 学 願 書 | 本学所定の用紙 |
| (2) 推 薦 書 | 本学所定の用紙 |
| (3) 調 査 書 | 出身校にて作成し厳封されたもの |
| (4) 入 学 検 定 料 | 26,000円 郵便局で普通為替証書（受取人欄等には一切記入しないこと）に
換えて出願書類に同封すること |
| (5) 受験票送付用封筒 | 本学所定のもの（住所・氏名明記、速達料相当切手（374円）貼付） |
| (6) 写 真 | 最近3か月以内に撮影した上半身正面無帽の写真（縦4cm×横3cm）2枚を入学
願書および受験票に貼付すること |

4. 出願期間（期間内必着のこと）

2021年12月13日（月）～2021年12月24日（金）

5. 試験日 2022年 1月 9日（日）

6. 試験地 本学・都城・日向

7. 試験科目・試験時間

集合時間 午前 9時
◆小論文 午前 9時30分～10時30分（60分・600字）
◆面接 午前10時45分～

8. 合格発表

合格発表日 2022年 1月19日（水）

- (1) 合否結果は、本人宛に郵送します。
- (2) 電話による合否の問い合わせには一切応じません。

9. 入学手続き

入学手続締切日 2022年 2月 2日（水）

詳細については、合格者に通知します。納入金については、P16を参照してください。

学校推薦型選抜Ⅱ期（公募）

1. 出願資格

出身高等学校長が特に推薦する者で、次の条件を満たす者

- (1) 2021年3月卒業者、または2022年3月卒業見込みの者
- (2) 全体の評定平均値が3.2以上の者、または人物、資質等において特に評定平均値に代えて評価すべき者

2. 選考方法 小論文・面接および書類審査をあわせて総合的に判断します。

多目的・総合的評価方法について、詳細はホームページに掲載します。

3. 出願書類

- | | |
|---------------|---|
| (1) 入 学 願 書 | 本学所定の用紙 |
| (2) 推 薦 書 | 本学所定の用紙 |
| (3) 調 査 書 | 出身校にて作成し厳封されたもの |
| (4) 入 学 検 定 料 | 26,000円 郵便局で普通為替証書(受取人欄等には一切記入しないこと)に
換えて出願書類に同封すること |
| (5) 受験票送付用封筒 | 本学所定のもの(住所・氏名明記、速達料相当切手(374円)貼付) |
| (6) 写 真 | 最近3か月以内に撮影した上半身正面無帽の写真(縦4cm×横3cm)2枚を入学
願書および受験票に貼付すること |

4. 出願期間（期間内必着のこと）

2021年12月13日(月)～2021年12月24日(金)

5. 試験日 2022年 1月 9日(日)

6. 試験地 本学・都城・日向

7. 試験科目・試験時間

- 集合時間 午前 9時
- ◆小論文 午前 9時30分～10時30分(60分・600字)
 - ◆面 接 午前10時45分～

8. 合格発表

合格発表日 2022年 1月19日(水)

- (1) 合否結果は、本人宛に郵送します。
- (2) 電話による合否の問い合わせには一切応じません。

9. 入学手続き

入学手続き締切日 2022年 2月 2日(水)

詳細については、合格者に通知します。納入金については、P16を参照してください。

一般選抜（特待生）

1. 特典

- (1) 特待生を選考します。採用者は、入学金全額(200,000円)を免除します。
特待生採用者には、特待生決定通知書を送付します。
(2) 特待生に採用されなかった場合でも、選考の上、成績が基準を満たしていれば合格とします。

2. 特待生採用人員　若干名

3. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校の卒業者、または2022年3月卒業見込みの者
(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2022年3月修了見込みの者
(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められる者

4. 選考方法　学科試験2教科(科目)の成績と調査書等を総合的に判断し、合否を決定します。

多目的・総合的評価方法について、詳細はホームページに掲載します。

5. 出願書類

- (1) 入学願書　本学所定の用紙
- (2) 調査書　出身校にて作成し厳封されたもの。ただし、高等学校卒業程度認定試験および大学入学資格検定合格者は、合格成績証明書
- (3) 入学検定料　26,000円　郵便局で普通為替証書(受取人欄等には一切記入しないこと)に換えて出願書類に同封すること
※共通テスト利用との同時出願可。受験料の減額措置があるのでP16を参照すること。
- (4) 受験票送付用封筒　本学所定のもの(住所・氏名明記、速達料相当切手(374円)貼付)
- (5) 写真　最近3か月以内に撮影した上半身正面無帽の写真(縦4cm×横3cm)2枚を入学願書および受験票に貼付すること

6. 出願期間（期間内必着のこと）

2022年 1月17日(月)～2022年 2月 2日(水)

7. 試験日　2022年 2月 6日(日)

8. 試験地　本学・都城・日向

9. 試験科目・試験時間　集合時間　午前9時

試験教科(科目)	試験時間
国語(国語総合・国語表現)、英語(コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ)、数学(数学Ⅰ) から2教科(科目)を選択	9:30～11:30

◎配点は、1教科(科目)につき100点とする。　◎教科(科目)の選択は、試験当日、試験室において行う。

◎国語は古文・漢文を除く。

◎全教科(科目)において、「思考力・判断力・表現力」を評価するために記述式問題を出題する。

10. 合格発表

合格発表日　2022年 2月17日(木)

- (1) 合否結果は、本人宛に郵送します。
(2) 電話による合否の問い合わせには一切応じません。

11. 入学手続き

入学手続締切日　2022年 2月25日(金)

詳細については、合格者に通知します。納入金については、P16を参照してください。

一般選抜（Ⅰ期・Ⅱ期）

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校の卒業者、または2022年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2022年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められる者

2. 選考方法

学科試験1教科(科目)の成績と調査書等を総合的に判断し、合否を決定します。
多目的・総合的評価方法について、詳細はホームページに掲載します。

3. 出願書類

(1) 入学願書	本学所定の用紙
(2) 調査書	出身校にて作成し厳封されたもの。ただし、高等学校卒業程度認定試験および大学入学資格検定合格者は、合格成績証明書
(3) 入学検定料	26,000円 郵便局で普通為替証書(受取人欄等には一切記入しないこと)に換えて出願書類に同封すること ※共通テスト利用選抜(Ⅰ期・Ⅱ期)との同時出願可。受験料の減額措置があるのでP16を参照すること。
(4) 受験票送付用封筒	本学所定のもの(住所・氏名明記、速達料相当切手(374円)貼付)
(5) 写真	最近3か月以内に撮影した上半身正面無帽の写真(縦4cm×横3cm)2枚を入学願書および受験票に貼付すること

4. 出願期間(期間内必着のこと)

I期 2022年 1月17日(月)～2022年 2月 2日(水)

II期 2022年 2月14日(月)～2022年 2月25日(金)

5. 試験日

I期 2022年 2月 6日(日)

II期 2022年 3月 4日(金)

6. 試験地

本学・都城・日向

7. 試験科目・試験時間

集合時間 午前9時

試験教科(科目)	試験時間
国語(国語総合・国語表現)、英語(コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ)、数学(数学Ⅰ) から1教科(科目)を選択	9:30～10:30

◎配点は、1教科(科目)につき100点とする。 ◎教科(科目)の選択は、試験当日、試験室において行う。

◎国語は古文・漢文を除く。

◎全教科(科目)において、「思考力・判断力・表現力」を評価するために記述式問題を出題する。

8. 合格発表

合格発表日 I期 2022年 2月17日(木)

II期 2022年 3月 9日(水)

- (1) 合否結果は、本人宛に郵送します。
- (2) 電話による合否の問い合わせには一切応じません。

9. 入学手続き

入学手続き締切日 I期 2022年 2月25日(金)

II期 2022年 3月18日(金)

詳細については、合格者に通知します。納入金については、P16を参照してください。

共通テスト利用選抜（Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期）

1. 出願資格

2022年度大学入学共通テストで、本学が指定した教科・科目を受験した者で、次のいずれかの条件を満たす者

- (1) 高等学校の卒業者、または2022年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2022年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められる者

2. 選考方法

大学入学共通テスト2教科(科目)の成績と調査書等を総合的に判断し、合否を決定します。
多目的・総合的評価方法について、詳細はホームページに掲載します。

3. 出願書類

- | | |
|--------------|---|
| (1) 入学願書 | 本学所定の用紙 |
| (2) 調査書 | 出身校にて作成し厳封されたもの。ただし、高等学校卒業程度認定試験および大学入学資格検定合格者は、合格成績証明書 |
| (3) 入学検定料 | 10,000円 郵便局で普通為替証書(受取人欄等には一切記入しないこと)に換えて出願書類に同封すること
※一般選抜（Ⅰ期・Ⅱ期）との同時出願可。受験料の減額措置があるのでP16を参照すること。 |
| (4) 受験票送付用封筒 | 本学所定のもの(住所・氏名明記、速達料相当切手(374円)貼付) |
| (5) 写真 | 最近3か月以内に撮影した上半身正面無帽の写真(縦4cm×横3cm)1枚を入学願書に貼付すること |

4. 出願期間（期間内必着のこと）

I期 2022年 1月17日(月)～2022年 2月 4日(金)

II期 2022年 2月14日(月)～2022年 3月 2日(水)

III期 2022年 3月 8日(火)～2022年 3月15日(火)

5. 試験科目・試験時間

試験教科(科目)	試験時間
国語、外国語(英語)、数学(数学Ⅰ、数学Ⅰ・数学A、簿記・会計)、 地歴・公民(世A・世B、日A・日B、地A・地B、現社、倫理、政経、倫理・政経) から2教科(科目)	指定教科(科目)以上受験した場合は、高得点の教科(科目)を合否判定に使用

◎配点は、1教科(科目)につき100点とする。

6. 合格発表

合格発表日 I期 2022年 2月17日(木)

II期 2022年 3月 9日(水)

III期 2022年 3月22日(火)

- (1) 合否結果は、本人宛に郵送します。
- (2) 電話による合否の問い合わせには一切応じません。

7. 入学手続き

入学手続締切日 I期 2022年 2月25日(金)

II期 2022年 3月18日(金)

III期 2022年 3月25日(金)

詳細については、合格者に通知します。納入金については、P16を参照してください。

●共通テスト利用選抜特待生制度

- (1) 共通テスト利用選抜合格者で、120点以上(60%)の成績を取得した者について、入学金全額(200,000円)を免除します。
- (2) 共通テスト利用選抜合格者で、170点(85%)以上の成績を取得した者について、授業料の全額(864,000円)を免除します。(2年次については、条件を満たした場合継続します。)

※(1)と(2)は併用できません。

社会人選抜（Ⅰ期・Ⅱ期）

1. 特典

入学金全額(200,000円)を免除します。

2. 出願資格

2022年3月31日までに満20歳に達する者で、次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められる者

3. 選考方法 小論文および面接をあわせて総合的に判断します。

4. 出願書類

- | | |
|--------------|--|
| (1) 入学願書 | 本学所定の用紙 |
| (2) 履歴書 | 本学所定の用紙 |
| (3) 卒業証明書 | 出身校にて作成し厳封されたもの
(高等学校卒業程度認定試験および大学入学資格検定合格者は合格成績証明書) |
| (4) 入学検定料 | 26,000円 郵便局で普通為替証書(受取人欄等には一切記入しないこと)に
換えて出願書類に同封すること(窓口持参については、現金でも可。ただし、土
日祝および本学所定の休日を除く。) |
| (5) 受験票送付用封筒 | 本学所定のもの(住所・氏名明記、速達料相当切手(374円)貼付) |
| (6) 写真 | 最近3か月以内に撮影した上半身正面無帽の写真(縦4cm×横3cm)2枚を入学
願書および受験票に貼付すること |

5. 出願期間（期間内必着のこと）

I期 2021年10月25日(月)～2021年11月11日(木)

II期 2022年 2月14日(月)～2022年 2月25日(金)

6. 試験日

I期 2021年11月21日(日)

II期 2022年 3月 4日(金)

7. 試験地 本学

8. 試験科目・試験時間

集合時間 午前 9時

◆小論文 午前 9時30分～10時30分(60分・600字)

◆面接 午前10時45分～

9. 合格発表

合格発表日 I期 2021年12月 1日(水)

II期 2022年 3月 9日(水)

(1) 合否結果は、本人宛に郵送します。

(2) 電話による合否の問い合わせには一切応じません。

10. 入学手続き

入学手続締切日 I期 2021年12月10日(金)

II期 2022年 3月18日(金)

詳細については、合格者に通知します。納入金については、P16を参照してください。

帰国生徒選抜（Ⅰ期・Ⅱ期）

1. 出願資格

日本国籍を有し、海外在留が継続して1年以上の帰国生徒で、次のいずれかに該当する者

- (1) 帰国後2年以内に日本の高等学校を卒業、または2022年3月卒業見込みの者
- (2) 外国において、日本の12年の学校教育に相当する教育課程を修了した者および修了見込みの者で帰国後2年以内の者

2. 選考方法 小論文・面接および書類審査を合わせて総合的に判断します。

多目的・総合的評価方法について、詳細はホームページに掲載します。

3. 出願書類

- | | |
|--------------|--|
| (1) 入学願書 | 本学所定の用紙 |
| (2) 履歴書 | 本学所定の用紙 |
| (3) 調査書 | 出身校にて作成し厳封されたもの
ただし、外国の学校を卒業した者および卒業見込みの者は、卒業証明書または卒業見込証明書と成績証明書を提出すること（原本と日本語訳文） |
| (4) 入学検定料 | 26,000円 郵便局で普通為替証書（受取人欄等には一切記入しないこと）に換えて出願書類に同封すること
(窓口持参については、現金でも可。ただし、土日祝および本学所定の休日を除く。) |
| (5) 受験票送付用封筒 | 本学所定のもの（住所・氏名明記、速達料相当切手（374円）貼付） |
| (6) 写真 | 最近3か月以内に撮影した上半身正面無帽の写真（縦4cm×横3cm）2枚を入学願書および受験票に貼付すること |

4. 出願期間（期間内必着のこと）

I期 2021年10月25日（月）～2021年11月11日（木）

II期 2022年 2月14日（月）～2022年 2月25日（金）

5. 試験日

I期 2021年11月21日（日）

II期 2022年 3月 4日（金）

6. 試験地 本学

7. 試験科目・試験時間

集合時間 午前 9時

◆小論文 午前 9時30分～10時30分（60分・600字）

◆面接 午前10時45分～

8. 合格発表

合格発表日 I期 2021年12月 1日（水）

II期 2022年 3月 9日（水）

(1) 合否結果は、本人宛に郵送します。

(2) 電話による合否の問い合わせには一切応じません。

9. 入学手続き

入学手続き日 I期 2021年12月10日（金）

II期 2022年 3月18日（金）

詳細については、合格者に通知します。納入金については、P16を参照してください。

長期履修学生選抜（Ⅰ期・Ⅱ期）

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校を卒業した者、または2022年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2022年3月卒業見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められる者

2. 履修期間 3年～6年間

3. 選考方法 小論文・面接および書類審査を合わせて総合的に判断します。 多目的・総合的評価方法について、詳細はホームページに掲載します。

4. 出願書類

- (1) 入学願書 本学所定の用紙
- (2) 履歴書 本学所定の用紙
- (3) 卒業証明書 出身校にて作成し厳封されたもの
(高等学校卒業程度認定試験および大学入学資格検定合格者は合格成績証明書)
- (4) 入学検定料 26,000円 郵便局で普通為替証書(受取人欄等には一切記入しないこと)に
換えて出願書類に同封すること(窓口持参については、現金でも可。ただし、土
日祝および本学所定の休日を除く。)
- (5) 受験票送付用封筒 本学所定のもの(住所・氏名明記、速達料相当切手(374円)貼付)
- (6) 写真 最近3か月以内に撮影した上半身正面無帽の写真(縦4cm×横3cm)2枚を入学
願書および受験票に貼付すること

5. 出願期間（期間内必着のこと）

- I期 2021年10月25日(月)～2021年11月11日(木)
II期 2022年 2月14日(月)～2022年 2月25日(金)

6. 試験日

- I期 2021年11月21日(日)
II期 2022年 3月 4日(金)

7. 試験地 本学

8. 試験科目・試験時間

- 集合時間 午前 9時
◆小論文 午前 9時30分～10時30分(60分・600字)
◆面接 午前10時45分～

9. 合格発表

- 合格発表日 I期 2021年12月 1日(水)
II期 2022年 3月 9日(水)

- (1) 合否結果は、本人宛に郵送します。
- (2) 電話による合否の問い合わせには一切応じません。

10. 入学手続き

- 入学手続締切日 I期 2021年12月10日(金)
II期 2022年 3月18日(金)

詳細については、合格者に通知します。納入金については、P16を参照してください。

受験上及び修学上の配慮や支援が必要な入学志願者の事前相談について

本学に入学を志願する者で、身体に障害等(視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱、発達障害、その他)があり、受験上及び修学上の配慮や支援が必要な場合は、以下により相談してください。

なお、相談の時期、内容によっては、本学の受験や入学後に、希望される配慮や支援が講じられない場合もありますので、可能な限り早めに相談してください。

また、期限後に本学を志願することになった場合及び不慮の事故等により身体に障害を有することとなった場合は、その時点で速やかに相談してください。

1 相談の方法

相談書(様式任意)に加え、医師の診断書及び身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳等を有する者は、その写しを添えて提出してください。必要な場合には、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

- (1) 入学志願者氏名、フリガナ、性別、住所、電話番号(平日の8:30～17:00に連絡のとれる電話番号)
- (2) 志望コース、入試区分(日程)
- (3) 障害の種類、程度
- (4) 受験上の配慮を希望する事項
- (5) 修学上の配慮を希望する事項
- (6) 在学(出身)学校でとられていた配慮
- (7) 日常生活の状況

2 相談書の提出期限

- 総合型選抜……………エントリーシート提出前まで
- その他の入試……………それぞれの出願開始一ヶ月前まで

3 相談書の提出先

〒880-0032 宮崎県宮崎市霧島5丁目1番地2 南九州短期大学 学生支援課

新型コロナウイルス関連

今後の新型コロナウイルス感染状況によっては、入試要項に記載されている選抜方法とは異なった方法で選抜を実施する可能性があります。変更した場合は、ホームページで周知しますので、出願の際には必ずご確認ください。

特待生・入学金免除制度等について

※特待生・免除制度等は併用できません。

● 共通テスト利用選抜特待生制度

- (1) 共通テスト利用選抜合格者で、120点以上(60%)の成績を取得した者について、入学金全額(200,000円)を免除します。
- (2) 共通テスト利用選抜合格者で、170点(85%)以上の成績を取得した者について、授業料の全額(864,000円)を免除します。(2年次については、条件を満たした場合継続します。)

＜2年次の継続条件＞

4月1日現在で選考し、①及び②を満たすこと

①修得単位(卒業要件単位)が40単位以上

※グローバル・コミュニケーションコースについては前期及び留学先の秋学期単位で換算して30単位以上とする。

②成績が学科の上位10%以内

※(1)と(2)は併用できません。

● 指定校入学金半額免除制度

指定校から学校推薦型選抜Ⅰ期を受験した場合、特待生に採用されなくても、合格者全員入学金半額(100,000円)を免除します。

● 沖縄県および鹿児島県諸島入学金全額免除制度

沖縄県および鹿児島県諸島の指定校から学校推薦型選抜Ⅰ期を受験した場合、特待生に採用されなくても、合格者全員入学金全額(200,000円)を免除します。

● 南九州学園入学金全額免除制度

次のいずれかに該当する者は、入学金全額(200,000円)を免除します。該当者は入学手続き時に申請してください。

- (1) 本学または南九州大学のいずれかに入学したことのある者
- (2) 親および兄弟姉妹が、本学または南九州大学のいずれかに入学したことのある者
- (3) 入学予定年度に複数の兄弟姉妹が同時に本学または南九州大学のいずれかに入学するときは、これらの者のうち後順位の者

● 社会人選抜入学金全額免除制度

社会人選抜の合格者は全員入学金全額(200,000円)を免除します。

● 資格スカラシップ制度(全入試に適用)

下記資格を取得した者で、評定平均値が3.5以上の入学試験合格者は入学金全額200,000円を免除します。本学所定の用紙による申請が必要となります。詳細は巻末の資格スカラシップ制度申請書を確認してください。

- ・全商検定1級三種目以上の合格者
- ・農業技術検定3級以上の合格者
- ・全国家庭科技検定1級二種目以上の合格者
- ・ジュニアマイスター(ゴールドまたはシルバー)称号授与資格者
- ・食品技能検定(1類、2類、3類、HACCPの内2つ以上)の合格者
- ・ITパスポート試験の合格者
- ・実用英語技能検定2級以上の合格者
- ・日本漢字能力検定2級以上の合格者
- ・秘書検定(実務技能検定協会)2級以上の合格者
- ・日商簿記検定2級以上の合格者

留学支援奨学制度について

単位認定留学の参加学生に対し、留学中の学納金のうち3ヵ月プログラム100,000円、6ヵ月プログラム200,000円を免除します。

入学検定料の減額について

複数の試験区分を同時に出願する場合、入学検定料については次のように減額します。

※出願書類は出願用封筒にすべてまとめて提出してください。なお、入学願書(写真貼付)・調査書等はそれぞれ試験区分ごとに必要ですが、受験票送付用封筒は1枚だけ同封してください。

- (1) 一般選抜(特待生)または一般選抜(I期)・共通テスト利用選抜(I期) 31,000円
(2) 一般選抜(II期)・共通テスト利用選抜(II期) 31,000円

学校法人南九州学園災害等罹災者学納金減免制度について

本学では「災害対策基本法」に定める災害の罹災及びそれに準ずる事態等を原因とする経済的困窮により、学納金の支払いが著しく困難であると認められる入学希望者に対して、入学検定料及び学納金を免除する制度があります。

- (1) 入学検定料 出願時に、願書の申請欄に○印を記入の上、罹災証明書を添付してください。
なお、申請者は入学検定料を同封しないようにしてください。
- (2) 入学金及び年間授業料 入学後に、減免申請書及び本学の請求する書類を提出して
(罹災状況により全額又は半額) ください。

詳細につきましては、学生支援課へお問い合わせください。

納入金について

◎入学手続き時には、次の1. 学納金(第1回)と2. 委託徴収金を合わせた額を納入してください。

1. 学 納 金

(単位:円)

内訳 納入法	初 年 度		年 間 計	年 間 計
	納 入 額	第 1 回		
	第 2 回			
入 学 金	200,000		200,000	
授 業 料	432,000	432,000	864,000	864,000
合 計	632,000	432,000	1,064,000	864,000
納 入 期	入学手続き時	10月1日		

◎授業料には、施設設備費が含まれています。

◎長期履修学生の授業料(年間)は、2年間の総額を履修年で割った金額とします。

◎在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

2. 委託徴収金

内訳	金額	入学手続き時
保護者会費	12,000円	
学生会費	15,000円	
同窓会会費	10,000円	
生協加入金	10,000円	

- ◎保護者会費・学生会費については、2年次も納入してください。
◎保護者会費中には、学生教育研究災害傷害保険料が含まれています。
◎同窓会会費は終身会費です。
◎生協加入金は、卒業時に返還します。
◎同窓会については下記アドレスにお問い合わせください。
E-mail:nantandoso@yahoo.co.jp

入学辞退について

入学手続き完了者が入学辞退をする場合は、2022年3月31日(木)までに入学辞退届を提出してください。納入金のうち、入学金を除いた額を返還いたします。

手続き方法につきましては、学生支援課へお問い合わせください。

お問い合わせ

南九州短期大学 学生支援課 TEL 0985-83-3406

土日祝及び本学所定の休日(12月28日～1月4日)を除く8:30～17:00

試験場案内

本 学

南九州短期大学

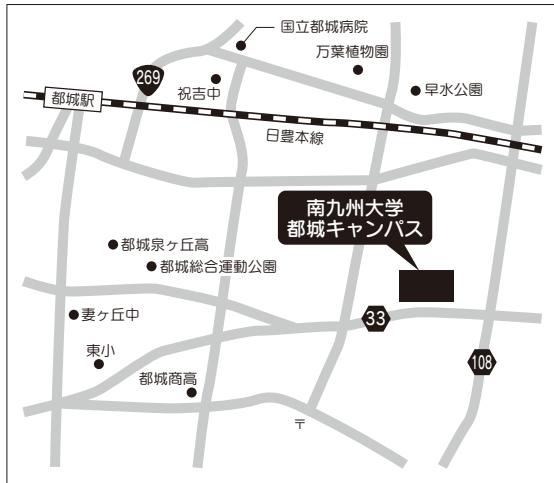


〒880-0032
宮崎県宮崎市霧島5丁目1番地2
TEL 0985-83-2100(代)

交通案内
◎JR宮崎神宮駅から徒歩20分
◎宮崎交通バス 霧島4丁目から徒歩1分

都 城

南九州大学 都城キャンパス



〒885-0035
宮崎県都城市立野町3764-1
TEL 0986-21-2111(代)

交通案内
◎宮崎交通バス 大学前から徒歩1分

三

日向第一ホテル



〒883-0045
宮崎県日向市本町11-5
TEL 0982-52-8151

交通案内

入学願書記入上の注意事項について

1. 入学願書は、試験区分ごとに異なります。所定の用紙を使用してください。
2. 入学願書は、必ず自筆ではっきりとていねいに記入してください。
3. 各票の記入にあたっては、黒のインクまたはボールペンを使用してください。
4. 漢字は楷書、数字はすべて算用数字(1, 2, 3, …….)を使用してください。
5. 受験票は、切り離さないで提出してください。
6. 一度提出した出願書類並びに入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
7. 入学願書提出後の試験地等の変更は認めません。

入学願書記入について

- | | |
|----------------------------|---|
| 1. 入 試 種 別 | 志願する入試種別の欄に○印を記入すること。 |
| 2. 試 験 地 | 希望する試験地の欄に○印を記入すること。 |
| 3. 氏 名 | 戸籍簿の氏名を記入すること。フリガナはカタカナで記入すること。 |
| 4. 性 別 | 該当する欄に○印を記入すること。 |
| 5. 生 年 月 日 | 西暦で記入すること。 |
| 6. 通 知 先 住 所 | 自宅住所を記入すること。 |
| 7. 連絡先電話番号 | 平日の8:30～17:00に連絡のとれる電話番号を記入すること。 |
| 8. 出 身 高 等 学 校 | 所在地の都道府県名、高等学校名を記入し、設置種類の欄に○印を記入すること。なお、コードについては、P22～24の高等学校コード表を参照の上、出身高校のコード番号を記入すること。(九州・沖縄地区以外の場合、コード番号の記入不要) |
| 9. 出 身 課 程 | 該当する欄に○印を記入すること。 |
| 10. 出 身 学 科 | 該当する欄に○印を記入すること。
普通=普通科
理数=理数科
農業=園芸科、造園科、食品化学科、農業経済科などの農業に関する学科
工業=工業科、電気科、機械科、土木科などの工業に関する学科
商業=商業科、経理科、会計科などの商業に関する学科
総合=総合学科
その他=英語科、体育科、食物科、被服科など |
| 11. 卒 業 年 | 該当する欄に○印または卒業年月を記入すること。 |
| 12. 災害等罹災者
学納金減免制度 | 該当者は○印を記入すること。また、罹災証明書を添付すること。 |
| 13. 大学入学共通テスト
成 績 請 求 票 | 共通テスト利用選抜を志願する者は、大学入試センター発行の成績請求票(私立短期大学用)をこの枠内に全面貼付すること。 |

個人情報の取り扱いについて

入学願書に基づいて登録された個人情報(住所・氏名・電話番号等出願書類記載事項)は、「南九州学園個人情報の保護に関する規程」に基づき、次の事項について利用します。

1. 入学試験実施
 - (1) 受験票送付
 - (2) 受付票
2. 合格発表
 - (1) 合格掲示(受験番号のみ)
 - (2) 合否通知(推薦入試の受験者は、出身校への通知を含む。)送付
 - (3) 入学手続書類送付(大学生協・同窓会案内を含む。)
3. 個人を特定しない各種統計資料作成

入学願書記入例

総合型選抜

令和4年度 南九州短期大学 総合型選抜			<input checked="" type="radio"/> I期	<input type="radio"/> II期	<input type="radio"/> III期	<input type="radio"/> IV期	<input type="radio"/> V期	入学願書
受験番号 (記入しない)			試験地 本学			写真貼付 1.上半身正面無帽 2.最近3か月以内 撮影のもの 3.サイズ4.0×3.0cm (入学願書と同じ)		
学科名 国際教養学科								
氏名 <small>フリガナ</small> ミナミ <small>漢字</small> 南 <small>姓</small> <small>名</small> 太郎			性別 <small>(○印をつける)</small> <input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女					
生年月日 (西暦) 2003年6月14日								
通知先住所 (自宅) 宮崎市霧島5丁目1番地2								
連絡先電話番号 (0985) 83-3435								
出身高等学校 所在地 宮崎 都道府県			出身課程 <small>(○印をつける)</small> <input checked="" type="radio"/> 全日制			出身学科 <small>(○印をつける)</small> <input checked="" type="radio"/> 普通 理数 農業 工業 商業 総合 その他		
設置 <small>(○印をつける)</small> ○ 国立 ○ 都道府県立 ○ 市町村立 ○ 私立			定時制 通信制 高卒認定 その他			卒業年月 (西暦) 卒業 2022年3月 <small>卒業見込み</small>		
高校名 宮崎 高等学校						災害等罹災者 学納金減免制度 (該当する者は○印をつける)		
コード 4 5 9 9 9 C								
※裏面記入								
切り離さない こと								
南九州短期大学受験票								
総合型 選抜			<input checked="" type="radio"/> I期			<input type="radio"/> II期		
			<input type="radio"/> III期			<input type="radio"/> IV期		
			<input type="radio"/> V期					
受験番号 (記入しない)								
氏名 <small>フリガナ</small> ミナミ <small>漢字</small> 南 <small>姓</small> <small>名</small> 太郎								
学科 国際教養学科								
試験地 本学								
切り離さない こと								
写真貼付 1.上半身正面無帽 2.最近3か月以内 撮影のもの 3.サイズ4.0×3.0cm (入学願書と同じ)								
※裏面を確認すること。								
領收印								
本票にて、入学検定料領収証とする。								

学校推薦型選抜(I期・II期) (指定校)

令和4年度 南九州短期大学 学校推薦型選抜			<input checked="" type="radio"/> I期	<input type="radio"/> II期	入学願書			
受験番号 (記入しない)			試験地 <small>(○印をつける)</small> <input checked="" type="radio"/> 本学					
学科名 国際教養学科			写真貼付 1.上半身正面無帽 2.最近3か月以内 撮影のもの 3.サイズ4.0×3.0cm (入学願書と同じ)					
氏名 <small>フリガナ</small> ミナミ <small>漢字</small> 南 <small>姓</small> <small>名</small> 太郎			性別 <small>(○印をつける)</small> <input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女					
生年月日 (西暦) 2003年6月14日								
通知先住所 (自宅) 宮崎市霧島5丁目1番地2								
連絡先電話番号 (0985) 83-3435								
出身高等学校 所在地 宮崎 都道府県			出身課程 <small>(○印をつける)</small> <input checked="" type="radio"/> 全日制					
設置 <small>(○印をつける)</small> ○ 国立 ○ 都道府県立 ○ 市町村立 ○ 私立			定時制 通信制 高卒認定 その他					
高校名 宮崎 高等学校			出身学科 <small>(○印をつける)</small> <input checked="" type="radio"/> 普通 理数 農業 工業 商業 総合 その他					
コード 4 5 9 9 9 C			卒業年 <small>(○印をつける)</small> <input checked="" type="radio"/> 2022 2021					
			災害等罹災者 学納金減免制度 (該当する者は○印をつける)					
※裏面記入								
切り離さない こと								
南九州短期大学受験票								
指定校								
学校推薦型 選抜			<input checked="" type="radio"/> I期			<input type="radio"/> II期		
受験番号 (記入しない)								
氏名 <small>フリガナ</small> ミナミ <small>漢字</small> 南 <small>姓</small> <small>名</small> 太郎								
学科 国際教養学科								
試験地 本学								
切り離さない こと								
写真貼付 1.上半身正面無帽 2.最近3か月以内 撮影のもの 3.サイズ4.0×3.0cm (入学願書と同じ)								
※裏面を確認すること。								
領收印								
本票にて、入学検定料領収証とする。								

学校推薦型選抜(Ⅰ期・Ⅱ期) (公募)

令和4年度 南九州短期大学 学校推薦型選抜 <input type="radio"/> Ⅰ期 <input type="radio"/> Ⅱ期 入学願書		公募			
受験番号 (記入しない)	試験地 (印をつける) <input type="radio"/> 本学 都城 日向	公募	南九州短期大学受験票 公募		
学科名 国際教養学科	写真貼付 1.上半身正面無帽 2.最近3か月以内 撮影のもの 3.サイズ4.0×3.0cm (入学願書と同じ)	学校推薦型 選抜 <input type="radio"/> Ⅰ期 Ⅱ期	受験番号 (記入しない) 氏 名 ミナミ タロウ 漢字 南 太郎 学科 国際教養学科		
氏名 <small>フリガナ</small> ミナミ タロウ <small>漢字</small> 南 太郎	性別 (印をつける) <input type="radio"/> 男 女	試験地 本学	試験地 本学		
生年月日 (西暦) 2003年6月14日	連絡先電話番号 (0985) 83 - 3435	写真貼付 1.上半身正面無帽 2.最近3か月以内 撮影のもの 3.サイズ4.0×3.0cm (入学願書と同じ)	写真貼付 1.上半身正面無帽 2.最近3か月以内 撮影のもの 3.サイズ4.0×3.0cm (入学願書と同じ)		
通知先住所 (自宅) 〒880-0032 宮崎市霧島5丁目1番地2	出身高等学校 所 在 地 宮崎 都道府県 國立 設 置 都道府県立 市町村立 <input type="radio"/> 私立 高校名 宮崎 高等学校 コ 一 ド 4 5 9 9 9 C	出身課程 (印をつける) <input type="radio"/> 全日制 定時制 通信制	出身学科 (印をつける) <input type="radio"/> 普通 理数 農業 工業 商業 総合 その他	卒業年 (印をつける) <input type="radio"/> 2022 2021	災害等罹患者 学納金減免制度 (該当する者は (印をつける))
		切 り 離 さ な い こ と	本票にて、入学検定料領収証とする。		
		※裏面記入	領收印		

一般選抜(特待生・Ⅰ期・Ⅱ期)

令和4年度 南九州短期大学 一般選抜 <input type="radio"/> 特待生 <input type="radio"/> Ⅰ期 <input type="radio"/> Ⅱ期 入学願書		南九州短期大学受験票 一般選抜 <input type="radio"/> 特待生 Ⅰ期 Ⅱ期			
受験番号 (記入しない)	試験地 (印をつける) <input type="radio"/> 本学 都城 日向	写真貼付 1.上半身正面無帽 2.最近3か月以内 撮影のもの 3.サイズ4.0×3.0cm (入学願書と同じ)	受験番号 (記入しない) 氏 名 ミナミ タロウ 漢字 南 太郎 学科 国際教養学科		
学科名 国際教養学科	性別 (印をつける) <input type="radio"/> 男 女	試験地 本学	試験地 本学		
氏名 <small>フリガナ</small> ミナミ タロウ <small>漢字</small> 南 太郎	生年月日 (西暦) 2003年6月14日	写真貼付 1.上半身正面無帽 2.最近3か月以内 撮影のもの 3.サイズ4.0×3.0cm (入学願書と同じ)	写真貼付 1.上半身正面無帽 2.最近3か月以内 撮影のもの 3.サイズ4.0×3.0cm (入学願書と同じ)		
通知先住所 (自宅) 〒880-0032 宮崎市霧島5丁目1番地2	連絡先電話番号 (0985) 83 - 3435	出身高等学校 所 在 地 宮崎 都道府県 國立 設 置 都道府県立 市町村立 <input type="radio"/> 私立 高校名 宮崎 高等学校 コ 一 ド 4 5 9 9 9 C	出身課程 (印をつける) <input type="radio"/> 全日制 定時制 通信制 高卒認定 その他	卒業年 (印をつける) <input type="radio"/> 2022 2021 2020 2019 2018以前 高卒認定	災害等罹患者 学納金減免制度 (該当する者は (印をつける))
		切 り 離 さ な い こ と	本票にて、入学�定料領収証とする。		
		※裏面記入	領收印		

共通テスト利用選抜(Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期)

令和4年度 南九州短期大学 共通テスト利用選抜 <input checked="" type="checkbox"/> Ⅰ期 <input type="checkbox"/> Ⅱ期 <input type="checkbox"/> Ⅲ期 入学願書																																																		
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">受験番号 (記入しない)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">学科名 国際教養学科</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">氏名 フリガナ ミナミ タロウ 漢字 南 太郎</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">生年月日 (西暦) 2003年6月14日</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">通知先住所 (自宅) 〒880-0032 宮崎 都道府県 宮崎市霧島5丁目1番地2</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">連絡先電話番号 (0985) 83-3435</div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <div style="width: 45%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2">出身高等学校</td></tr> <tr><td>所在地</td><td>宮崎 都道府県</td></tr> <tr><td rowspan="2">設置 (○印をつける)</td><td>国立</td></tr> <tr><td>都道府県立</td></tr> <tr><td rowspan="2">市町村立 (○印をつける)</td><td>市町村立</td></tr> <tr><td>私立</td></tr> <tr><td>高校名</td><td>宮崎 高等学校</td></tr> <tr><td>コード</td><td>459999C</td></tr> </table> </div> <div style="width: 45%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2">出身課程</td></tr> <tr><td rowspan="6">(○印をつける)</td><td>全日制</td></tr> <tr><td>定時制</td></tr> <tr><td>通信制</td></tr> <tr><td>高卒認定</td></tr> <tr><td>その他</td></tr> <tr><td>その他</td></tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2">出身学科</td></tr> <tr><td rowspan="6">(○印をつける)</td><td>普通</td></tr> <tr><td>理数</td></tr> <tr><td>農業</td></tr> <tr><td>工業</td></tr> <tr><td>商業</td></tr> <tr><td>総合</td></tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2">卒業年</td></tr> <tr><td rowspan="6">(○印をつける)</td><td>2022</td></tr> <tr><td>2021</td></tr> <tr><td>2020</td></tr> <tr><td>2019</td></tr> <tr><td>2018以前</td></tr> <tr><td>高卒認定</td></tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2">災害等罹患者 学納金減免制度 (該当する者は○印をつける)</td></tr> <tr><td colspan="2"></td></tr> </table> </div> </div>	出身高等学校		所在地	宮崎 都道府県	設置 (○印をつける)	国立	都道府県立	市町村立 (○印をつける)	市町村立	私立	高校名	宮崎 高等学校	コード	459999C	出身課程		(○印をつける)	全日制	定時制	通信制	高卒認定	その他	その他	出身学科		(○印をつける)	普通	理数	農業	工業	商業	総合	卒業年		(○印をつける)	2022	2021	2020	2019	2018以前	高卒認定	災害等罹患者 学納金減免制度 (該当する者は○印をつける)				<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">写真貼付 1.上半身正面無帽 2.最近3か月以内 撮影のもの 3.サイズ4.0×3.0cm (入学願書と同じ)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">南九州短期大学受験票 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td rowspan="3">共通テスト 利用選抜</td><td><input checked="" type="checkbox"/> Ⅰ期</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> Ⅱ期</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> Ⅲ期</td></tr></table></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">受験番号 (記入しない)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">氏名 フリガナ ミナミ タロウ 漢字 南 太郎</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">学年 南太郎</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">学科 国際教養学科</div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">※裏面を確認すること。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">領收印</div>	共通テスト 利用選抜	<input checked="" type="checkbox"/> Ⅰ期	<input type="checkbox"/> Ⅱ期	<input type="checkbox"/> Ⅲ期
出身高等学校																																																		
所在地	宮崎 都道府県																																																	
設置 (○印をつける)	国立																																																	
	都道府県立																																																	
市町村立 (○印をつける)	市町村立																																																	
	私立																																																	
高校名	宮崎 高等学校																																																	
コード	459999C																																																	
出身課程																																																		
(○印をつける)	全日制																																																	
	定時制																																																	
	通信制																																																	
	高卒認定																																																	
	その他																																																	
	その他																																																	
出身学科																																																		
(○印をつける)	普通																																																	
	理数																																																	
	農業																																																	
	工業																																																	
	商業																																																	
	総合																																																	
卒業年																																																		
(○印をつける)	2022																																																	
	2021																																																	
	2020																																																	
	2019																																																	
	2018以前																																																	
	高卒認定																																																	
災害等罹患者 学納金減免制度 (該当する者は○印をつける)																																																		
共通テスト 利用選抜	<input checked="" type="checkbox"/> Ⅰ期																																																	
	<input type="checkbox"/> Ⅱ期																																																	
	<input type="checkbox"/> Ⅲ期																																																	
本票にて、入学検定料領収証とする。																																																		

社会人・帰国生徒・長期履修学生入試

令和4年度 南九州短期大学 <input checked="" type="checkbox"/> 社会人Ⅰ期 <input type="checkbox"/> 帰国生徒Ⅰ期 <input type="checkbox"/> 長期履修Ⅰ期 入学願書 <input type="checkbox"/> 社会人Ⅱ期 <input type="checkbox"/> 帰国生徒Ⅱ期 <input type="checkbox"/> 長期履修Ⅱ期																																																						
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">受験番号 (記入しない)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">学科名 国際教養学科</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">氏名 フリガナ ミナミ タロウ 漢字 南 太郎</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">生年月日 (西暦) 1998年6月14日</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">通知先住所 (自宅) 〒880-0032 宮崎 都道府県 宮崎市霧島5丁目1番地2</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">連絡先電話番号 (0985) 83-3435</div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <div style="width: 45%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2">出身高等学校</td></tr> <tr><td>所在地</td><td>宮崎 都道府県</td></tr> <tr><td rowspan="2">設置 (○印をつける)</td><td>国立</td></tr> <tr><td>都道府県立</td></tr> <tr><td rowspan="2">市町村立 (○印をつける)</td><td>市町村立</td></tr> <tr><td>私立</td></tr> <tr><td>高校名</td><td>宮崎 高等学校</td></tr> <tr><td>コード</td><td>459999C</td></tr> </table> </div> <div style="width: 45%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2">出身課程</td></tr> <tr><td rowspan="6">(○印をつける)</td><td>全日制</td></tr> <tr><td>定時制</td></tr> <tr><td>通信制</td></tr> <tr><td>高卒認定</td></tr> <tr><td>その他</td></tr> <tr><td>その他</td></tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2">出身学科</td></tr> <tr><td rowspan="6">(○印をつける)</td><td>普通</td></tr> <tr><td>理数</td></tr> <tr><td>農業</td></tr> <tr><td>工業</td></tr> <tr><td>商業</td></tr> <tr><td>総合</td></tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2">卒業年月 (西暦)</td></tr> <tr><td rowspan="2">(○印をつける)</td><td>2018年3月</td></tr> <tr><td>卒業</td></tr> <tr><td colspan="2">長期履修学生 希望履修期間 (○印をつける)</td></tr> <tr><td rowspan="5">(○印をつける)</td><td>3</td></tr> <tr><td>4</td></tr> <tr><td>5</td></tr> <tr><td>6</td></tr> <tr><td>その他</td></tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2">災害等罹患者 学納金減免制度 (該当する者は○印をつける)</td></tr> <tr><td colspan="2"></td></tr> </table> </div> </div>	出身高等学校		所在地	宮崎 都道府県	設置 (○印をつける)	国立	都道府県立	市町村立 (○印をつける)	市町村立	私立	高校名	宮崎 高等学校	コード	459999C	出身課程		(○印をつける)	全日制	定時制	通信制	高卒認定	その他	その他	出身学科		(○印をつける)	普通	理数	農業	工業	商業	総合	卒業年月 (西暦)		(○印をつける)	2018年3月	卒業	長期履修学生 希望履修期間 (○印をつける)		(○印をつける)	3	4	5	6	その他	災害等罹患者 学納金減免制度 (該当する者は○印をつける)				<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">南九州短期大学受験票 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td rowspan="3">社会人Ⅰ期 帰国生徒Ⅰ期 長期履修Ⅰ期</td><td><input checked="" type="checkbox"/> 社会人Ⅱ期 帰国生徒Ⅱ期 長期履修Ⅱ期</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 長期履修Ⅰ期</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 長期履修Ⅱ期</td></tr></table></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">受験番号 (記入しない)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">氏名 フリガナ ミナミ タロウ 漢字 南 太郎</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">学年 南太郎</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">学科 国際教養学科</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">試験地 本学</div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">※裏面を確認すること。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">領收印</div>	社会人Ⅰ期 帰国生徒Ⅰ期 長期履修Ⅰ期	<input checked="" type="checkbox"/> 社会人Ⅱ期 帰国生徒Ⅱ期 長期履修Ⅱ期	<input type="checkbox"/> 長期履修Ⅰ期	<input type="checkbox"/> 長期履修Ⅱ期
出身高等学校																																																						
所在地	宮崎 都道府県																																																					
設置 (○印をつける)	国立																																																					
	都道府県立																																																					
市町村立 (○印をつける)	市町村立																																																					
	私立																																																					
高校名	宮崎 高等学校																																																					
コード	459999C																																																					
出身課程																																																						
(○印をつける)	全日制																																																					
	定時制																																																					
	通信制																																																					
	高卒認定																																																					
	その他																																																					
	その他																																																					
出身学科																																																						
(○印をつける)	普通																																																					
	理数																																																					
	農業																																																					
	工業																																																					
	商業																																																					
	総合																																																					
卒業年月 (西暦)																																																						
(○印をつける)	2018年3月																																																					
	卒業																																																					
長期履修学生 希望履修期間 (○印をつける)																																																						
(○印をつける)	3																																																					
	4																																																					
	5																																																					
	6																																																					
	その他																																																					
災害等罹患者 学納金減免制度 (該当する者は○印をつける)																																																						
社会人Ⅰ期 帰国生徒Ⅰ期 長期履修Ⅰ期	<input checked="" type="checkbox"/> 社会人Ⅱ期 帰国生徒Ⅱ期 長期履修Ⅱ期																																																					
	<input type="checkbox"/> 長期履修Ⅰ期																																																					
	<input type="checkbox"/> 長期履修Ⅱ期																																																					
本票にて、入学検定料領収証とする。																																																						

高等学校コード表

◎本表は「出身高等学校コード」欄の記入に用いてください。

◎本表のコード番号は、「令和3年度大学入試センター試験受験案内」から引用したものです。

い 池 田 学 園 池 田 46522 E	沖 縄 県	志 川 商 川 47152 G	北 北 部 農 山 47117 J	ち 中 部 農 林 47135 G
出 水 中 央 46514 D	国 立	志 川 商 業 47144 F	北 前 和 里 川 47112 H	な 名 護 特 別 支 援 47456 J
お 大 口 明 光 学 園 46515 B	(高等専門学校)	陽 47161 F	真 美 里 工 里 47107 A	那 羣 特 別 支 援 47443 G
か 鹿 児 島 46505 E	お 沖 縄 工 業 高 専 47091 A	ザ 47110 A	里 工 里 47146 B	に 西 崎 特 別 支 援 47461 E
鹿 児 島 育 英 館 46523 C	公 立	東 47155 A	念 47102 A	は 南 風 原 高 等 支 援 47433 K
鹿 児 島 修 学 館 46524 A	(高等学校)	谷 47142 K	谷 47142 K	み 美 咲 特 別 支 援 47455 A
鹿 児 島 実 業 46501 B	い 石 糸 伊 良	業 47123 C	古 総 合 実 業 47130 F	も 森 川 特 別 支 援 47462 C
鹿 児 島 純 心 女 子 46506 C	う 浦 添 工 業 47154 C	林 47134 J	業 47164 A	や や え セ 高 等 支 援 47431 C
鹿 児 島 城 西 46503 J	浦 添 商 業 47140 C	47145 D	科 47125 K	八 重 山 特 別 支 援 47460 G
鹿 児 島 情 報 46507 A	お 沖 縄 繩 工 水	見 城 47108 K	部 47116 A	よ 陽 明 高 等 支 援 47432 A
鹿 児 島 第 一 46516 A	繩 工 水 産 47131 D	南 47150 A	山 47121 G	私 立
鹿 屋 中 央 46519 E	小 開 嘉 手 中	護 47115 B	工 47138 A	(高等学校)
神 村 学 園 高 等 部 46511 K	ラ サ 一 手 中	那 47106 C	林 47137 C	え N 47509 C
志 學 館 高 等 部 46521 G	り 龍 野 野 久 く 久	那 47157 H	明 47147 A	お 沖 縄 繩 尚 学 47507 G
尚 志 館 46520 J	繩 工 水 産 47133 A	那 47156 K	勝 47148 J	こ 興 南 47503 D
樟 南 第 二 46517 J	北 球 宜 野 野 久	那 47153 E	谷 47111 K	し 昭 和 葉 科 大 学 附 屬 47505 A
ほ 凤 久 島 お お ぞ ら 46525 K	開 嘉 陽 47160 H	那 47141 A	(特別支援学校)	つ つ く ば 開 成 国 際 47510 G
や 屋 久 島 お お ぞ ら 46525 K	宜 野 47114 D	原 47143 H	あ 泡 瀬 特 別 支 援 47442 J	ひ ヒ ュ ー マ ン キ ャ ナ バ 47508 E
ら ラ サ 一 ル 46508 K	野 47149 G	間 47109 H	お 大 平 特 別 支 援 47454 B	ス
り 龍 桜 46509 H	米 47119 E	名 47118 G	沖 縄 高 等 特 別 支 援 47463 A	や 八 洲 学 園 大 学 国 際 47506 J
れ れ い め い 46512 H			沖 縄 繩 47452 F	上 記 以 外 の 高 等 学 校 等 47999 D
上記以外の高等学校等 46999 J			沖 縄 繩 ろ う 47451 H	

高等学校卒業程度認定試験等、外国の学校等、文部科学大臣の指定した者、認定、在外教育施設、専修学校の高等課程

51000K	高等学校卒業程度認定試験	高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和4年3月31日までに合格見込みの者、又は令和3年度第2回高等学校卒業程度認定試験に出願している者
	大学入学資格検定	大学入学資格検定に合格した者
52000E	外国の学校等	外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和4年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
53000A	文部科学大臣の指定した者	海技教育機構（旧海員学校）の本科を卒業した者及び令和4年3月卒業見込みの者、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格（フランス共和国）取得者、GCEA レベル取得者、国際的な評価団体の認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者又は修了見込みの者、その他文部科学大臣の指定した者（旧制諸学校出身者等）
54000F	認定	大学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和4年3月31日までに18歳に達するもの いわゆる「飛び入学」で大学に入学した者（学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者）であって、当該者をその後に入学させる大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
55000A	在外教育施設	文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和4年3月31日までに修了見込みの者
56000G	専修学校の高等課程	専修学校の高等課程を卒業（修了）した者及び令和4年3月31日までに卒業見込み（修了見込み）の者

令和3年度入学試験問題

小論文

総合型選抜Ⅰ期

(60分・600字)

課題 短期大学に進学して自分自身を高め、自分の目標に近づくためにはどうすべきでしょうか。600字以内で述べなさい。

小論文

学校推薦型選抜Ⅰ期、総合型選抜Ⅱ期、社会人選抜Ⅰ期、
帰国生徒選抜Ⅰ期、長期履修学生選抜Ⅰ期

(60分・600字)

課題 下記のテーマについて600字以内で記述してください。

「地域に貢献できる人材（又は貢献する人材）とはどのような人を言うのでしょうか。あなたが今まで経験してきた地域活動など具体例をあげ、あなたの考えを述べなさい。」

小論文

学校推薦型選抜Ⅱ期、総合型選抜Ⅲ期

(60分・600字)

課題 下記のテーマについて600字以内で記述してください。

「短期大学での学びや生活は、社会人となるための人間としての形成過程とも言えます。良識ある社会人とはどのような人を言うとあなたは考えますか。また、そのような良識ある社会人になるために、あなたはどのような短期大学生活を送りたいと考えていますか。」

小論文

総合型選抜Ⅳ期

(60分・600字)

課題 本学のアドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）の一つに、「専門的、職業的な知識・技能を身につけ、地域社会に貢献したい人」というものがあります。あなたは、本学においてどのような専門的、職業的な知識を身につけ、地域社会に貢献できる人材になりたいと思いますか。またその為には何をなすべきと考えていますか。その理由も含めて600字以内で記述して下さい。

一、次の文章を読んで、後の間に答えよ。

一九九三年にカリフォルニア州でおこつた地震によつて高速道路の橋脚が倒れ、橋があちこちで落し下したとき、日本の高速道路は十分な①タイシン設計がなされているので大丈夫である、と専門家が述べた。(①)一九九五年の兵庫県南部地震で、阪神高速道路をはじめあちこちで橋が崩れるという大被害が発生した。

科学技術はひじょうに複雑であつて、かんたんには説明することがむずかしいので、(a)専門家のほうもつい単純化して断言してしまう。その結果、学問の内容が一般社会の人たちに正しく伝わらず、事故は絶対におこらないと言つたのにおこつたではないかと言われ、科学技術は社会の信頼を失いかねないという事態になる。(②)つねに自分の学問研究の確かさを疑い、反省しながら、より信頼性のあるわかりやすい説明に向かつて研究者は努力しなければならない。

(③)一方では、研究者が研究予算の④カクトクのための説明をするときに、言ひすぎといつたことがおこる。説明を聞く審査委員会の多くの委員はからずしもその分野の専門家ではないので、その分野の⑤シツタイがどうなつていて、研究者の解決しようとしている問題が、その分野においてどのような重要性をもつているのか、それはどうしたらどの程度解決できるのか、(⑥)研究者が予想している解決にいたる成功率は妥当なものか、といったことを、こと細かに研究者から聞いても、他の研究者の提案する研究課題の説明との比較をすることはひじょうにむずかしい。

審査員が研究者と同じ専門分野である場合も、からずしもかんたんではない。同じ研究課題に関心があつても、解決のための考え方や方法論がちがうとき、どうしても相手方の方法はよくないと思つてしまいがちだからである。(⑦)良心的な研究者ほど、よりむずかしい課題を提案するが、やつてみないと成功するかどうかはわからないと言つて、(b)審査員の不評をかつたりする。

一方では、研究費がほしいので、この研究テーマはこの程度お金をかけばからず二年以内に解決できるとか、現在の精度を一桁うわまわる精度のものをつくることができる、などと断言する人も出てくる。審査員を感じさせたり、驚かすような内容でないと、なかなか研究費がもらえないといつた⑧サッカクに陥つてしまつ場合である。このような説明のしかたは国によつてあたりまえのことのようであるが、はたしてそれでよいのかどうか。

研究は未知のことに挑戦するのだから、言つたことが実現できなくてもやむをえないという立場は十分ありうることであるが、それも度が過ぎると問題であろう。下手をすると、データの捏造といった研究者にあるまじきことがおこつてしまつ危険性もある。

私たち研究者は十分⑨ケンキヨでなければならない。研究者は現実を直視し、真理に忠実であり、科学の限界を十分認識し、こういつたことを社会に対して正しく伝え、社会の理解をうる努力をすることが必要である。

長尾 真『「わかる」とは何か』岩波書店

問一 文章中の⑩～⑪のカタカナを漢字に直し解答欄に書きなさい。

問二 文章中の(⑫)～(⑬)に最もよく当てはまる言葉を次の中から選び、その記号を解答欄に書きなさい。同じ記号を選んでもよい。

ア にもかかわらず イ しかし ウ つまり エ したがつて オ そして

問三 文章中の傍線部⑤とならないために、筆者はどうしたらよいと考えているかを五十字以内で解答欄へ書きなさい。

問四 文章中の傍線部⑥の理由として考えられることを五十字以内で解答欄へ書きなさい。

一、次の文章を読んで後の間に答えよ。

目に見えない、あるいは手に触れることができない抽象的な概念を指すことはの意味——例えば「愛」とか「敬意」といったことはの意味——を、子どもはどのように理解することができるのでしょうか。〈略〉ヘレンは、(a)ジジヨテンの中で「愛」ということはの意味を理解した時のことを述べています。

ある朝、サリバン先生は「ヘレンのことを愛しているわ」と綴りました。ヘレンは「愛って何?」と(り)タズネマス。サリバン先生はヘレンを引き寄せ、彼女の胸を指さして言いました。「ここにあるわ」

しかし、ヘレンはこの答えにひどく戸惑いました。「愛って、花のいい香りのこと?」「太陽の暖かい日差しのこと?」ヘレンは次々に聞いていきますが、サリバン先生は首を振り続けます。なぜ、サリバン先生は「愛」を具体的に示してくれないのでしょうか?とヘレンはがっかりしながら考えていました。ヘレンは、この時にはまだ、手に触れられない、抽象的なものも名前を持ち、このことで表現できるのだということを知らなかつたのです。

ヘレンは、さらに、「愛」の意味を考え続けました。サリバン先生は指文字を綴つて説明します。「雲にさわることはできないでしよう? それでも雨が降ってくるのはわかるし、暑い日には花も乾いた大地も雨を喜んでいるのがわかるでしよう? それと愛は同じなのよ。愛も手で触ることはできません。だけど、愛が(c)ソソガル時のやさしさを感じることはできます。愛があるから、喜びが湧いてくるし、遊びたい気持ちも起きるのよ」

ヘレンは書いています。「その瞬間、美しい真理が、私の(d)ノウリにひらめいた——私の心とほかの人の心は、見えない糸で結ばれているのだ」と。ヘレンは「愛」ということはを一生懸命考え、理解したことで、言語は、抽象的な概念にも名前をつけることができるのだということを知りました。これは、「モノには名前があり、(e)とはモノの名前だ」という洞察に次ぐ、(1)第一の洞察を彼女に与えたはずです。ことはは、直接経験できるモノに名前を与えるだけではありません。目に見えない抽象的な概念に名前を与えることは、直接的な感覚経験を超えた抽象的な思考に子どもを導いてくれるのです。

抽象的なことはの意味の理解を可能にするのもまた、ことです。みなさんも、知らないことがあつたら辞書を引きますよね。辞書はあることを別のことはで記述しています。説明に使っていることはをすでに知つていて、説明が理解できれば、直接それを見たり、触つたりする経験をしなくても(あるいは直接的な感覚経験ができない抽象概念の名前でも)、新しいことはを知ることができるわけです。ことはのストック(つまり語彙)がほんじなし小さじ赤ちゃんは、(f)によつて新しいことはの意味を学習することはできません。でも、ことはのストックがある程度でなくてければ、すでに知つていることはを使って新しいことはを学習していくことができるのです。すでに学んだことはによつて未だ知らなかつたことはをほんじん新たに学習し、新しい概念を身につけていくことができる。ことはを学習するということは、思考の強力な武器を手に入れるにはかなりません。

ヘレンは「愛」ということはの意味を理解する前に、愛という気持ちを持つていなかつたわけではもちろんありません。もともと「愛する」という気持ちがどういうものかがまったく理解できなけれ

ば、いくらことばで説明されても、字面は理解できても、「ほんとうの意味」はわかるはずがありません。「愛とはなんですか?」と聞かれたら「愛とは〇〇です」という定義を返すことができるよう口ボットをプログラムすることは可能です。でも、(2)定義を返せることと、「愛」の意味がわかるることは違います。愛という気持ちを自分で少しでも経験したことがないければ、「愛」ということばの意味はわかりません。

では、もともと「愛する」気持ちを持っていたら、その気持ちに「愛する」ということばを単純に貼りつければ「愛する」ということばの意味を理解することができるのでしょうか? 前にも述べましたが、言語獲得の理論では、長い間そのような考えが広く受け入れられていました。ことばの意味を獲得するということは、子どもがすでに持っている整理済みの概念にラベルを貼りつけていく作業だと考えられていたのです。

しかし子どものことばの使い方の発達変化を丁寧に見ていくと、その考えは正しくないことがわかります。例えば「愛」ということば。子どもは、このことばを教えられ、その意味を覚えることによって、今まで整理されていなかつた、(e)バクゼンとした気持ちが何なのかということを考えるようになります、「愛」という概念に対しての理解を深めることができます。

子どもは(大人もですが)絶えず、ことばの意味を、そのことばではない別のことばと対比して考えます。例えば、「愛」は「好き」とどう違うのでしょうか? 「愛」と「喜び」はどう違うのでしょうか? ベレンは「愛」ということばが「理解できた」と言っています。でも、「好き」や「喜び」などの、「愛」と深く関係することばを学び、それらと「愛」がどのように違うのかを理解するまでは、「愛」ということばの意味をほんとうに理解したとは言えません。〈略〉あることばの意味をほんとうに理解するためには、そのことばと関連することばとどのように区別されるのかがはつきりわかる必要があります。

「愛」や「喜び」などの目に見えない概念を表すことはもまた、語彙という意味のシステムの一部です。「愛」ということばの意味は「好き」や「喜び」「友情」「親しみ」「楽しさ」などの気持ちを表現することばとの関係性で決まります。これらのことを学ぶことによって、これまでバクゼンとして未分化だった概念が、より明確になり、整理されるのです。

このようにして、子どもは目に見えない、手に取ることもできない抽象的な概念のことばを学び、ことばを学ぶことによってこれらの抽象概念をシステムの中で理解し、自分の一部にしていきます。それを可能にしているのはことです。目に見えるモノや行為に対応づけて覚えた基本的なことばが、抽象的な概念を理解し、その名前を学習することを可能にしているのです。

今井むつみ『ことばの発達の謎を解く』筑摩書房

(注) ベレン・ケラー(一八八〇-一九六八)アメリカの教育家・社会福祉事業家。一歳時の疾患により、目が見えない、耳がきこえない、ことを発することができないという三重の障害を負う。家庭教師であるアン・サリバンの教育を受け、指文字を通して言語を学習する。

問一 傍線部(a)～(e)のカタカナを漢字に直し、解答欄に書きなさい。

なお、(b) (c)は送りがなを正しく付けること。

問二 傍線部(1)「第二」の洞察」が示す内容を、本文に即して五十字以内で説明しなさい。

問三 傍線部(2)「定義を返せることと、「愛」の意味がわかることは違います。」について、

①ことばの「定義を返す」とはどのようなことか。本文に即して二十字以内で説明しなさい。

②ことばの「意味がわかる」とはどのようなことか。本文に即して八十字以内で説明しなさい。

1 次の英文を完成させるのに最も適切な選択肢を選び、記号で答えよ。

- (1) What are you going to do after you () from college?
a. graduate b. graduation c. graduating d. graduated
- (2) When you take a () of someone, you should ask him/her if it is OK.
a. photographer b. photography c. photograph d. photographic
- (3) I studied () to pass the test, and I succeeded.
a. hardly b. hard c. harden d. the harder
- (4) Mr. Ikeda is such a nice teacher that many students () him.
a. suspect b. respect c. except d. expect
- (5) His story was so funny that I couldn't help ().
a. laugh b. laughter c. laughed d. laughing
- (6) It was careless () you to say such things to her.
a. for b. of c. at d. in
- (7) It was very hot in the morning, so Hiroshi wanted ().
a. something to cold drink.
b. to drink cold something
c. something cold to drink
d. to something drink cold
- (8) () your help, I managed to finish the project on time.
a. Thanks to b. Owing for c. Even though d. In spite of
- (9) James looked () to see me at the party last night.
a. surprising b. surprise c. surprised d. to surprise
- (10) If I had known your phone number, I () you for help then.
a. would call b. have called c. would have call d. would have called

2 次の5つの英文を一続きの文章になるように適切な順序に並べよ。その際、例を参考にステップ1～ステップ3の指示に従って答えを解答用紙に記入せよ。

- a. Yes, I'm fine. I am trying to stay home as much as possible these days.
- b. Great idea. Can everyone get together online on weekends?
- c. I think so. I'll ask them and let you know.
- d. Hi, John. We haven't seen you in months. Is everything all right?
- e. That's good. Then how about we all meet online sometime?

ステップ1：上のa～eを適切な順序に並び替えて、以下に記入せよ。

あなたの答え	例
→ → → →	a → e → b → d → c

ステップ2：ステップ1で記入した記号を、以下の指示に従って記入せよ。

※ 次に来るものがない場合は「なし」と記入せよ。

あなたの答え	例
aの次に来るもの	e
bの次に来るもの	d
cの次に来るもの	なし
dの次に来るもの	c
eの次に来るもの	b

ステップ3：ステップ2で記入した記号を、解答用紙に記入せよ。

3 以下はNancyとTomの対話である。2人の対話が自然な流れになるよう、Tomの部分(a)～(e)に英文を記入せよ。(a)～(e)の各下線には文を2文ずつ記入せよ。

Nancy: Hi, Tom. How are your studies going?

Tom: (a)_____

Nancy: Yeah, most of my classes are online, too. How do you like it?

Tom: (b)_____

Nancy: Really? I think it's OK. I don't have to wake up early for the train.

Tom: (c)_____

Nancy: Yeah, sometimes it is difficult to hear, so I wear earphones.

Tom: (d)_____

Nancy: You don't have any? Well, you can order them on the Internet. It's easy.

Tom: (e)_____

4 次の英文を読み、設問に答えよ。

Polar Bears in Danger

Most polar bears could disappear by the end of the ①century, scientists say. Global warming is to blame.

(A) a study published this month in *Nature Climate Change*, most polar bear populations will be in serious decline by 2080. The cause is melting sea ice. Polar bears hunt seals on the ice. Without ice, the bears must roam on the shore, where they are spending more and more time away from their main food source. (B) the animals could starve.

“There's not enough food on land to ②sustain a polar bear population,” Péter K. Molnár told the *New York Times*. He is the study's lead author.

Lack of food leads to another problem: Mother bears may not be fat enough to produce milk for their *cubs. Some bear populations could stop having babies, leading to a rapid decline (C).

Polar bears are the largest land *carnivores on the planet. They help keep other animal populations in check. Losing them would throw ③habitats off-balance. “Their loss would *reverberate throughout the ecosystem,” Marika Holland says. She's one of the authors of the study.

Arctic sea ice usually melts in the spring and summer, then grows in the winter. But now, the ice is taking longer to grow back. Weather statistics say the Arctic is warming twice (D) the rest of the planet. Ice in the region has declined 13% every 10 years since the 1970s.

The Arctic is home to roughly 25,000 polar bears. Scientists have (E) that the animals are in danger. This study, which looked at 13 of the world's 19 polar bear populations, is the first to identify when they could ④disappear.

But the study also notes that it is still possible to slow Arctic melting. The world can reduce the burning of fossil fuels and lower the greenhouse gas ⑤emissions that contribute to climate change. It would have to be a drastic reduction. Bringing emissions to only a moderate level will still mean the loss of some polar bears.

Saving the bears is up to us, Holland says. "I believe that there is hope," she says. "But humans need to act quickly to turn that hope into a reality."

出典: "Time for Kids" July 22, 2020 by Ellen Nam

注:cub (s) (クマなどの)子 carnivore (s) 肉食動物 reverberate ～に影響を及ぼす

(1) 本文中の下線部①～⑤の単語において、英文中の文脈に合う意味として最も適切な選択肢をa.～d.の中から1つ選び、記号で答えよ。

- | | | | | |
|---------------|---------|---------|----------|---------|
| ①century | a. 世紀 | b. 国 | c. 儀式 | d. 森林 |
| ②sustain | a. 増やす | b. 減らす | c. 維持する | d. 疑う |
| ③habitat (s) | a. 習慣 | b. 生息地 | c. 食料 | d. ごみ |
| ④disappear | a. 進化する | b. 繁殖する | c. 失望させる | d. 絶滅する |
| ⑤emission (s) | a. 排出 | b. 削減 | c. 増加 | d. 破壊 |

(2) 英文中の空欄(A)～(E)に入れるものとして最も適切な選択肢をa.～d.から1つ選び、記号で答えよ。

- | | | | | |
|-----|-----------------|-------------------|------------------|-----------------|
| (A) | a. According to | b. Accordingly | c. Respectful to | d. Respectfully |
| (B) | a. Of course | b. Meantime | c. Conversely | d. That means |
| (C) | a. in food | b. in numbers | c. of ice | d. of families |
| (D) | a. as well as | b. as probable as | c. as fast as | d. as soon as |
| (E) | a. long known | b. been known | c. long been | d. been studied |

(3) 次の英文を読み、その内容が本文の内容と合っている場合は○を、合っていない場合は×を記入せよ。

- a. Global warming could cause polar bears to disappear.
- b. Polar bears are in decline because they need to eat ice.
- c. Polar bears cannot find enough food on land.
- d. Mother bears need to be fat to feed their babies.
- e. Polar bears help check other animals.
- f. Arctic ice declines about 13% every year.
- g. About 25,000 polar bears live in the Arctic today.
- h. Climate change is caused by greenhouses and burning fossils.
- i. Drastic change is needed to save polar bears.
- j. People need to act with the animals and turn to reality.

(4) 英文の内容を踏まえ、次の質問に対するあなたの意見を50語程度の英語で書け。

Question: Do you think saving animals from extinction is important? Give reasons.

以下の1~10の問題について解答せよ。解答欄に計算式等も記すこと。

1. $A = x + 2y + 3z$, $B = x + y - 2z$, $C = -6x - 2y + 2z$ のとき、次の式を計算せよ。

$$6(2A + 3B) - 13(A + 2B + 2C)$$

2. 整数を要素とする2つの集合を以下のA、Bとするとき、

$A \cap B = \{7, 9\}$ となるような定数a、bの値を求めよ。

また、そのときの $A \cup B$ を求めよ。

$$A = \{2, 4, 7, a^2\}$$

$$B = \{3, a+10, a+b\}$$

3. $\frac{1}{\sqrt{7}-2}$ の整数部分をa、小数部分をbとするとき、a, bの値を求めよ。

4. 放物線 $y = x^2 - 8x + 3$ が x 軸から切り取る線分の長さを求めよ。

5. $2x^2 - 12x + 10 \geq 0$ の不等式がある。

①この不等式を解きなさい。

②整数解の個数を答えよ。

6. $\theta = 225^\circ$ のとき、以下の値を求めよ。

① $\cos \theta$ ② $\sin^2 \theta$ ③ $\tan^2 \theta$ ④ $\cos 3\theta$

7. 3辺の長さがそれぞれ4, 7, 9の三角形について、その面積と内接する円の半径を求めよ。

8. 直径 $2a$ の円に内接する正六角形の面積を求めよ。

9. 内径1.5m、壁厚5cm、底厚5cm、深さ60cmの丸池を作る予定である。

この池を作るために必要な生コンクリートの体積を求めよ。

10. 次の数値は10名の学生に100点満点の国語、英語のテストを行った結果である。

国語 60 63 65 66 68 73 74 75 68 70

英語 36 46 56 78 86 90 60 63 63 68

①これらのデータの箱ひげ図を並べて書け。

②データの散らばり度合いの大きなものはどちらかについて、その理由と合わせて答えよ。

一、次の文章を読んで、後の間に答えよ。

阪神・淡路の大震災に遭遇したとき、さつそく現地⑦キュウエンにでかけたのだが、何の役にも立たぬことをしみじみと実感させられるばかりであった。負傷した人々を介護できる医療の知識があるわけではなく、建物の危険性を診断できる技量もなく、といって水運びをする体力もボランティアを①サハイする才覚もない。ただ、右往左往するばかりで、(A) 足手まといになるばかりであった。役に立たない学問で飯を食わせもらっているのだから、せめてこんな時こそ役に立たねばと思うのだが、ほとんど為す術がないのだ。心ばかりの義捐金を送るしか能がないことを悟らされ、なんと自分は役に立たない人間だなあと思つたことであった。

科学の目的はもっぱら事物の認識であり、それによつて得られた概念や法則が人間の行動の⑨キハシとして役立つにすぎない、と言つたのはボアンカレであった。「科学のための科学」の正当性を主張したのだ。これに対する異論は、科学哲学の立場からさまざまに発せられ、科学の社会的役割や科学者のアカウンタビリティー(社会的説明責任)が議論されてきた。「科学のための科学」をもつと意識せよ、といつわけだ。当の科学者自身は、「役に立つことが科学の目的ではない、(B) 結果的に役立つから社会は科学に金を出すべきだ」と科学の「価値」を主張している。(C) 、この論理は間違つてはいないだろう。科学者は、いずれ役に立つのだから長い目で見てください、としか言えないからだ。だが、この言説には「役に立つ科学」に価値を置く思考癖が、いみじくも染み出しているといえないのである。「役に立つ」と「価値」が等値されつつあると思わざるを得ないのである。

科学に、実用的価値と非実用的価値の双方があるのは当然である。前者が役に立つ、後者が役に立たないということになる。元々、日本は遅れた科学国家として出発したから、生活や生産に役立つ部門が「実業」として重視され、「実業の日本」を標榜してきた。どの時代にも「科学技術立国」と唱えられたが、それは富国に役立つ「科学技術」であったのだ。その偏りがずっと基礎科学軽視として続いてきた。(D) 、基礎科学は「虚業」として、継子扱いされてきたと言える。それに慣らされたわけではないだろうが、科学者にも「役に立つ」ことを強調する癖が付いてしまつたらしい。(a) 科学の本來的な「価値」を正面からぶつけることを回避し、国家の⑨イシノンを高めるための寄与を含めて、社会に役立つていると認めさせようとしているかのようである。

阪神淡路大震災で見事に反証されたのだが、科学者たちは、日本の高速道路は絶対安全と保障していたし、いずれ地震⑨ケイホウが出せると約束もしていたのだ。そうでないことが明白になって、科学者の信用がいっぺんに下落してしまつた。わかつていることの限界を忘れて、(E) 万能であるかのように科学を社会に売り込むことは、科学にとって(人間にとつて)決してためにはならないことを如実に示している。むしろ、(b) 科学者の傲慢さ軽薄さが大写しになつて見えるだけなのである。

池内 了『転回期の科学を読む辞典』みすず書房

問一 文章中の⑦～⑩のカタカナを漢字に直し解答欄に書きなさい。

問二 文章中の（①）～（⑤）に最もよく当たる言葉を次の中から選び、記号を解答欄に書きなさい。同じ記号を選んでもよい。

ア おそらく イ まさに ウ かえつて エ あたかも オ しかし

問三 文章中の傍線部①の意味を本文に即して六十字以内で解答欄へ書きなさい。

問四 文章中の傍線部②の意味を本文に即して五十字以内で解答欄へ書きなさい。

一、次の文章を読んで後の間に答えよ。①～⑪は段落番号を示す。

- ① 「新種を発見しました」と話すと、「すごい」と言われることが多い。「新種」という単語の持つインパクトを感じる（a）シヨンカンである。しかし同時に「それってどんな意味があるの？」と問われることもある。私の研究しているクモヒトデなどは、確かに海で探せば個体数も多く、容易に捕まえることができるが、特に食用になるわけでもなく、かといって人に害をなすわけでもない。さらに水族館では「気持ち悪い」と言われ（実際に横でそう言っているのを耳にしたことがある）、およそ人間に直接的な利害をもたらしている生物ではない。（A）では、そんな生き物に名前を付けることには何の意味があるのか。
- ② 國際動物命名規約は、その序文に「動物の学名に最大限の（b）フヘン性と連續性を与えること」を銘打っている。私は、これこそが分類学が第一に目指すものであると思う。すなわち、人類が、生物の名前を認識し、（c）コウキュウ的に、安定して用いるようにできること、である。今を生きる人々が死に絶えた後にも、我々の子孫がいつでも生物を認識できる未来を築くことが分類学の最重要課題であり、そのために分類学者は日夜、標本の管理や、文献情報に基づいて学名を整理している。そういう意味ではすぐに何かの役に立つことを目的にした学問ではない。しかしながら、分類学それ自体が直接的に人の役に立つ場面もたくさんある。
- ③ 第一に挙げられるのは先ほども少し例に出した図鑑類の出版であろう。分類学のレビュー論文を一般にわかりやすくし、各種の写真ないしイラストを添えたものが図鑑やガイドブックと言えよう。分類学的な整理なくしてこのような書籍の発刊はなしえない。誰しもが「自分の周りの生物の名前を知りたい」という欲求を持っている。幼いころ、捕まえた昆虫や魚を図鑑で調べた人も多いだろう。
- ④ ただ、図鑑の制作は大変な仕事である。（略）それまでの全ての分類学的な先行研究をまとめ、かつ一般的にわかりやすい写真を添えなくてはならない。昆虫や貝など、研究者の多い分類群であればまだしも（それでも相当な労力を払う必要があるが）、マイナーナン分類群では、例えば日本近海の種の図鑑となると、一人の研究者が一生頑張ってなしえるかどうか、というほどの仕事である。
- ⑤ また、「生物相」の解明も、分類学の重要な課題である。生物相とは、ある地域に（d）セイシクする全ての生物種のことである。例えば普天間基地の移設問題に端を発する沖縄県辺野古沖の埋め立て。大浦湾は生物の豊富な湾として知られるが、その生物相に関する答えは出ていなかった。
- ⑥ 海には、目に見えるサンゴや魚だけではなく、石やサンゴの隙間、さらには海底の砂の隙間に（e）ヒソンティル数多くの生物が溢れている。なかにはまだ分類が始まったばかりで、未記載種が多く残る分類群も珍しくない。これらの生物相を全て認識することで、やつとその生態系を把握することができるはずである。埋め立ての前に海のゆりかごと称されるサンゴを移植したというが、

それだけでは、その湾の環境でないと住めない生物種（固有種と呼ぶ）を含んだ豊かな生物相を保全することなどできるわけがない。

- ⑦ ところが辺野古では、その基礎作りもままならないうちに埋め立てが始まってしまった。この結果、人類にとって未知の種が、人類の手によつて絶滅している可能性はかなり高い。辺野古は水山の一角だと思う。おそらく地球上のどこにも「生物相が完全に解明できた」地域などなく、今このシンカンにも、環境破壊によつて消えゆく未記載種がいるのである。
- ⑧ (1) このようなケースを未然に防ぐため、一種でも多くの生物種を我々の知識の体系に乗せられるよう、分類学は、日夜、生物の記載を進めている。環境変動によつて生物相が変化した際、その影響をより正しく評価するためにはより多くの生物に基づく解析が必要だからだ。その意味で、生物相の解明に直接的にかかわる分類学の社会的役割は大きいと言えるだろう。
- ⑨ もつと言えば、分類学は役に立つ／立たない、という基準で記録しているわけではない。ということであれば、「今は役に立つ生物の記載はほぼ終わっているのだから、とりあえず分類学は終わりにしてもいいじゃないか。だれも見向きもしないような生物を記載してなんの意味があるのか？」という意見が聞こえてきそうである。上述したことより、分類学の遂行は、一度で終わりにできるようなものでは決してない。自然環境は刻々と変化しているし、今記載を進めておかないと、困るのは一〇〇年後、二〇〇年後の我々の子孫であろう。
- ⑩ したがつて、分類学の本質的な意義・目的は、まず第一に、生物の分類群（多くは種）に名前を付けることで、人類がそれを認識可能にすることである。そして第二に、その名前を人類が安定して用いられるようにすることである。実用的な意義として認識される図鑑の発刊や、生物相の調査や環境保全へのデータ提供は、もちろん分類学の非常に重要な課題ではあるが、あくまでもこの本業の副産物である。
- ⑪ 全生物の名前を把握するのにどれくらいの時間が必要なのか、それすらも見当がつかない状況なのであるが、我々の孫、ひ孫、玄孫、その子孫にいたるまでが、安心して学名を使えるようになるための担保を、分類学者は日々生み出しているのである。

岡西政典『新種の発見 見つけ、名づけ、系統づける動物分類学』中央公論社

問一 傍線部（a）～（e）のカタカナを漢字に直し、解答欄に書きなさい。
なお、（e）は送りがなを正しく付けること。

問二 次の文は、本文中から抜き出した一段落である。本文①～⑪のうちどの段落の次に置いたらよいか段落番号で答えなさい。

また、分類学者は標本を残す。生物の標本が残つていれば、破壊されてしまった自然を記録しておくことができる。ただし、これは最終手段であり、環境破壊は、行われないことが第一であることは言うまでもない。

問三 傍線部（1）「このようなケース」が示す内容を、本文に即して二十字以内で説明しなさい。

問四 傍線部（A）「では、そんな生き物に名前を付けることに何の意味があるのか。」に対する答えを、本文に即して百字以内で説明しなさい。

1 次の英文を完成させるのに最も適切な選択肢を選び、記号で答えよ。

- (1) All the students were waiting for their turns ().
a. quiet b. quietness c. quietly d. quieter
- (2) I will call you when I () at the airport.
a. arrive b. arriving c. arrived d. will arrive
- (3) The teacher gave me () to use the computer in class.
a. permit b. permitting c. permitted d. permission
- (4) Many people were speaking in the library, so I couldn't () on my studies.
a. concentrate b. complement c. concrete d. congratulate
- (5) It's so hot and humid lately. I can't () with it any longer.
a. stand up b. put up c. light up d. come up
- (6) Hiroshi went to the supermarket in order () some vegetables.
a. for buy b. to buy c. buying d. to buying
- (7) These days, I order books () the Internet. It's very convenient.
a. across b. with c. via d. of
- (8) When I look at the pictures of my favorite idol group, they always make me ().
a. smiling b. smiled c. having smiled d. smile
- (9) I thought I lost the key. Then I realized that I () it at home.
a. has left b. had left c. am leaving d. was left
- (10) Last night's game was so exciting. You () come.
a. can b. shall be c. should have d. ought to have been

2 次の5つの英文を一続きの文章になるように適切な順序に並べよ。その際、例を参考にステップ1～ステップ3の指示に従って答えを解答用紙に記入せよ。

- a. Through the experience, students can learn many things and grow as a human being.
- b. Then they may get sleepy in class and have poor academic achievements as a result.
- c. It is said that there are some good points for university students to have part-time jobs.
- d. However, if students work till late at night, they may suffer from lack of sleep.
- e. Having valuable experience in society, such as greeting customers, is one such example.

ステップ1：上のa～eを適切な順序に並び替えて、以下に記入せよ。

あなたの答え	例
→ → → →	a → e → b → d → c

ステップ2：ステップ1で記入した記号を、以下の指示に従って記入せよ。

※次に来るものが無い場合は「なし」と記入せよ。

あなたの答え	例
a の次に来るもの	
b の次に来るもの	
c の次に来るもの	
d の次に来るもの	
e の次に来るもの	

a の次に来るもの	e
b の次に来るもの	d
c の次に来るもの	なし
d の次に来るもの	c
e の次に来るもの	b

ステップ3：ステップ2で記入した記号を、解答用紙に記入せよ。

3 以下はCarolとEricの対話である。2人の対話が自然な流れになるよう、Ericの部分(a)～(e)に英文を記入せよ。(a)～(e)の各下線には文を2文ずつ記入せよ。

Carol: Hey Eric, are you still singing with your band?

Eric: (a) _____

Carol: Ah, that's too bad. Do you think practice can start up again soon?

Eric: (b) _____

Carol: Yeah, hopefully it will go to level 1. How many people are in your band?

Eric: (c) _____

Carol: That is still under 10. Can you all just wear masks?

Eric: (d) _____

Carol: That's true. Well, better to stay home and stay safe.

Eric: (e) _____

4 次のMasayoshi Son(孫正義)に関する英文を読み、設問に答えよ。なお、文章に左にある〔1〕～〔6〕はパラグラフ(段落)の番号を表している。

- 〔1〕 Masayoshi Son, the founder and C.E.O. of SoftBank, was born in Saga in 1957. His family was not wealthy, so his parents worked hard from morning till night to raise their four children. His grandmother always said to him, “Don’t blame others. Be thankful.” Son, as a child, didn’t like her advice, but he wished to get out of the situation and make his family live in comfort with his earnings.
- 〔2〕 When Son was a high school student in Fukuoka, he had a chance to take part in a language program in America. Besides studying English, he visited many places and met many people. He was excited in everything he did. Even though it was a short program, this experience changed his life. After returning to Japan, he decided to quit high school and move to America. His family were against his idea, but Son believed in his ambitions. After promising his mother that he would come back to Japan after graduating from university, Son went to America in 1974.
- 〔3〕 Son entered Holy Names College in California in 1975. What he did first as a college student was to go to a furniture shop to buy a big, strong door. After bringing it home, he laid it across two steel cabinets to make a massive desk. Then he put all his textbooks, notebooks and dictionaries on it so that he could quickly grab them anytime he needed. He studied very hard every day, whether he was eating, bathing, or driving. By doing so, he had a brilliant academic record.
- 〔4〕 Around this period, a small thing changed his life. One day, while reading a science magazine, a picture of a computer chip caught his eye. He was deeply moved and trembled with excitement. He believed that computer technology would innovate the world in the near future. From this moment, he decided to do business related to computers.
- 〔5〕 In 1977, Son transferred to the University of California, Berkeley, where he also started business seriously. To begin with, he wanted to invent something to sell. After many trials and errors, and with help from many people, he finally invented an electronic translator. Then he took the machine and negotiated a contract with Sharp Corporation, a Japanese company. The contract was successfully signed, and the company started to sell the electronic translator, the first of its kind in the world. Son received about a hundred million yen for the contract, and he was very happy. In fact, his electronic translator has evolved over the years and eventually transformed to the current electronic dictionary, a popular study tool that many students now possess.
- 〔6〕 In 1980, Son graduated from the University of California, Berkeley, and returned to Japan as promised to his mother. He started several new businesses in Japan and has been expanding them. He is one of the most successful businesspersons globally. He surely is rich, but he has always remembered his grandmother’s words, “Don’t blame others. Be thankful.”

出典:『志高く 孫正義伝 新版』実業之日本社、2015

(1) According to paragraph 1, what can we learn about Son's family when he was small?

- a. His family was rich, and he had happy childhood days.
- b. His grandfather founded a company called SoftBank.
- c. His grandmother kept complaining about other people.
- d. His father and mother worked hard to feed their children.

(2) 第2段落の下線部 this experience changed his life. の部分において、this experienceとはどのような経験のことか。20字程度の日本語で答えよ。

(3) According to paragraph 3, what did Son first do when he entered Holy Names College?

- a. He went to an American high school.
- b. He studied while eating something.
- c. He bought something to help him study.
- d. He transferred to another university.

(4) 第4段落の下線部 a small thing changed his life. の部分において、a small thing とはどういうものか。15字以内の日本語で答えよ。

(5) 第5段落の内容と異なっているものを1つ選び、記号で答えよ。

- a. Son was still a university student when he invented a unique machine.
- b. Son tried to negotiate with Sharp Corporation, a Japanese company.
- c. Son's product was rejected by the University of California, Berkeley.
- d. Son's invention has turned into a popular study tool of today.

(6) 本文の内容と一致するものを3つ選び、記号で答えよ。

- a. When Son said he wanted to go to America, his family agreed almost instantly.
- b. Son made a promise to come back to Japan after graduating from high school.
- c. At Holy Names College, he studied even while he was taking a bath.
- d. Son believed that computer technology would make the world better.
- e. When Son was inventing a machine, he succeeded it with ease.
- f. Son has never forgotten his grandmother's saying, "Don't blame others. Be thankful."

(7) 本文の要旨として最も適切なものを1つ選び、記号で答えよ。

- a. Son's hard-working university days have contributed to his success today.
- b. Keeping a promise with your friends is more important than studying.
- c. Electronic dictionaries are convenient tools for university students.
- d. A big door is definitely needed at a businessperson's house.

(8) 英文の内容を踏まえ、次の質問に対するあなたの意見を50語程度の英語で書け。

What is your ambition? Please explain.

以下の1~10の問題について解答せよ。解答欄に計算式等も記すこと。

1. $A = x - 2y - 3z$ 、 $B = x - y + 2z$ 、 $C = 6x + 2y - 2z$ とする。次の式を計算せよ。

$$-5(B + C) + 18(6A + C)$$

2. 次の式を因数分解せよ。

① $x^4 - 5x^2 + 4$

② $x^2 + xy + y - 1$

3. $x = \frac{\sqrt{3} + \sqrt{11}}{2}$ 、 $y = \frac{\sqrt{3} - \sqrt{11}}{2}$ のとき、次の式の値を求めよ。

① $x + y$ ② xy ③ $x^2 + y^2$ ④ $x^3 + y^3$

4. 次の定義域における2次関数 $y = x^2 + 12x + 23$ の最大値と最小値、およびそのときの x の値を求めよ。またこの関数の値域を求めよ。

① $-7 \leq x \leq -3$ ② $-2 < x \leq 2$

5. $2n^2 + 9n - 5 \leq 0$ の不等式がある。

① この不等式を解きなさい。

② 整数解の個数を答えよ。

6. $0^\circ \leq \theta \leq 360^\circ$ のとき、次のような θ を求めよ。

① $\sin \theta = \frac{1}{\sqrt{2}}$

② $\tan \theta = 1$

7. $\triangle ABC$ において、 $A=60^\circ$ 、 $a=6$ 、 $B=45^\circ$ とその外接円がある。

① 外接円の半径 R を求めよ。

② b を求めよ。

8. 半径9cmの円に内接する正六角形の面積を求めよ。

9. 外径1.2m、壁厚10cm、底厚10cm、高さ50cmの丸池を作る予定である。

この池を作るために必要な生コンクリートの体積を求めよ。

10. 次の数値は10名の男女中学生に走り幅跳びのテストを行った結果である。

男子 3.2 3.2 3.3 3.4 3.5 3.8 4.1 3.8 3.4 3.5 (m)

女子 1.8 2.4 2.8 3.8 4.3 4.4 2.9 3.2 3.2 3.5 (m)

① これらのデータの箱ひげ図を並べて書け。

② データの散らばり度合いの大きなものはどちらかについて、その理由と合わせて答えよ。

令和3年度入学試験問題解答例

国語[一般選抜(特待生・I期)]

[1]

問1	⑦	①	⑨	⑩	⑧
	耐震	獲得	実態	錯覚	謙虚

問2	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ	Ⓔ
	①	②	⑦	⑨	⑧

問3 つねに自分の学問研究の確かさを疑い、反省しながら、より信頼性のあるわかりやすい説明をすること。

問4 良心的な研究者ほど、十分な裏づけや根拠もなく、軽々しくものを言えないと考えるから。

[2]

問1	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)
	自叙伝	尋ねます	注がれる	脳裏	漠然

問2 (解答例) ことばはモノだけでなく抽象的な概念にも名前を与え、直接的な感覚経験をこえた抽象的な思考を可能にする。

問3 ① (解答例) あることばを別のことばで説明すること。

問3 ② (解答例) そのことばではない別のことばと対比して考え、それまで未分化だった関連することばとの関係性をより明確に整理し、どのように区別されるのかがはつきりわかること。

英語[一般選抜(特待生・I期)]

[1]

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
a	c	b	b	d
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
b	c	a	c	d

[2]

aの次に来るもの	bの次に来るもの	cの次に来るもの	dの次に来るもの	eの次に来るもの
e	c	なし	a	b

[3]

- (a) Hi, Nancy. My classes are now online.
- (b) I don't like it. I would rather go to school.
- (c) That's true. However, sometimes I can't hear the teacher clearly.
- (d) Really? I wish I had some.
- (e) That's a good idea. I should order them today.

[4]

	①	②	③	④	⑤
(1)	a	c	b	d	a
(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	
(2)	a	d	b	c	a
	a	b	c	d	e
(3)	○	×	○	○	×
	f	g	h	i	j
	×	○	×	○	×

(4) 解答は受験者によって異なる

数学[一般選抜(特待生・I期)]

1 $147x + 42y - 39z$

2 $a = -3, b = 12$

$A \cup B = \{2, 3, 4, 7, 9\}$

3 $a = 1, b = \frac{\sqrt{7} - 1}{3}$

4 $2\sqrt{13}$

5 ① $2(x-5)(x-1) \geq 0$

② 2, 3, 4以外のすべての整数で、数限りなし。

6 ① $-\frac{\sqrt{2}}{2}$ 又は $-\frac{1}{\sqrt{2}}$

② $\frac{1}{2}$

③ 1

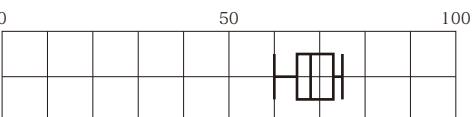
④ $\frac{\sqrt{2}}{2}$ 又は $\frac{1}{\sqrt{2}}$

7 $s = 6\sqrt{5}, r = \frac{3}{5}\sqrt{5}$

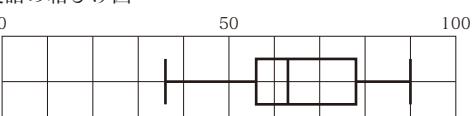
8 $\frac{3}{2}\sqrt{3}a^2$

9 78500cm³ 又は 0.0785 m³

国語の箱ひげ図



英語の箱ひげ図



① データの散らばり度合いの大きなものは英語である。その理由として、英語の最大値と最小値の幅が大きく、また第1～第3四分位数が中央値より離れている。さらに第1～第3四分位数の幅が大きいため四分位範囲が大きく、四分位偏差も2倍近くある。

10

国語[一般選抜(II期)]

[1]

問	(⑦)	(①)	(⑨)	(⑩)	(⑩)
1	救援	差配	規範	威信	警報

問	(Ⓐ)	(Ⓑ)	(Ⓒ)	(Ⓓ)	(Ⓔ)
2	(⑦)	(⑩)	(⑦)	(①)	(⑩)

問3 科学の目的はもっぱら事物の認識であり、それによつて得られた概念や法則が人間の規範として役立つにすぎないこと。

問4 わかっていることの限界を忘れて、あたかも万能であるかのように科学を社会に売り込むこと。

[2]

問	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)
1	瞬間	普遍	恒久	生息	潜んでいる

問2 ⑧

問3 (解答例) 生物相の解明前に、環境破壊によって未知の種が消えていくこと。

問4 (解答例) 生き物に名前を付けることには二つの意義がある。第一は、生物の分類群に名前を付けることで人類がそれを認識可能にすることである。第二は、その名前を人類が安定して用いられるようにすることである。

英語[一般選抜(II期)]

[1]

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
c	a	d	a	b
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
b	c	d	b	c

[2]

aの次に来るもの	bの次に来るもの	cの次に来るもの	dの次に来るもの	eの次に来るもの
e	なし	a	b	d

[3]

(a)	Oh, hi Carol. Yes, I am but we can't practice now because of coronavirus.
(b)	I hope so. As soon as the number of cases go down, we will start.
(c)	It's a small band. There are only five people.
(d)	We tried. However, it was too hard to practice with masks.
(e)	That's what we thought. You stay safe too.

[4]

(1)	d														
(2)	ア	メ	リ	カ	で	た	く	さ	ん	の	場	所	に	行	き
	多	く	の	人	に	出	会	つ	た	こ	と	。			
(3)	c														
(4)	コ	ン	ピ	ュ	ー	タ	ー	チ	ッ	プ	の	写	真		
(5)	c														
(6)	c	d	f												
(7)	a														
(8)	解答は受験者によって異なる														

数学[一般選抜(II期)]

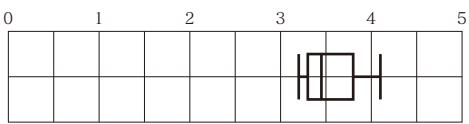
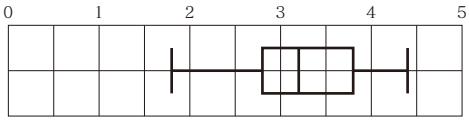
1	$181x - 185y - 360z$
2	<p>① $(x+2)(x-2)(x+1)(x-1)$</p> <p>② $(x+1)(x-1+y)$</p>
3	<p>① $\sqrt{3}$</p> <p>② -2</p> <p>③ 7</p> <p>④ $9\sqrt{3}$</p>
4	<p>$x = -6$ のとき 最小値 -13</p> <p>① $x = -3$ のとき 最大値 -4</p> <p>値域 $-13 \leq y \leq -4$</p> <p>② 最小値 なし</p> <p>$x = 2$ のとき 最大値 51</p> <p>値域 $3 < y \leq 51$</p>
5	<p>① $-5 \leq n \leq \frac{1}{2}$</p> <p>② 5個</p>

6	<p>① $\theta = 45^\circ, 135^\circ$</p> <p>② $\theta = 45^\circ, 225^\circ$</p>
---	---

7	<p>① $R = 2\sqrt{3}$</p> <p>② $b = 2\sqrt{6}$</p>
---	---

8	$\frac{243}{2}\sqrt{3}$
---	-------------------------

9	$80000\pi \text{ cm}^3$ 又は $0.08\pi \text{ m}^3$
---	--

10	<p>① 男子の箱ひげ図</p>  <p>女子の箱ひげ図</p>  <p>② データの散らばり度合いの大きなものは女子である。その理由として、女子の最大値と最小値の幅が大きく、また第1～第3四分位数が中央値より離れている。さらに第1～第3四分位数の幅が大きいため四分位範囲が大きく、四分位偏差も2倍ある。</p>
----	---

MEMO



問い合わせ
フリーダイヤル 0120-3739-20
TEL (0985)83-2100 (代表)
(0985)83-3406 (直通)
FAX (0985)83-3383
URL <http://www.mkjc.ac.jp>
E-mail info@mkjc.ac.jp